

不動産市場動向データ集

(公社)全国宅地建物取引業協会連合会
不動産総合研究所
2020年10月

記載しているデータの正確性には万全を期していますが、何らかの原因により誤りがある可能性があります。当研究所は、利用者が記載データを用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。
また、本稿で述べられた意見・見解は執筆者個人に属するものであり、弊会の意見・見解を代表するものではありません。

サマリー

項目	地域	指標	種別	年次		月次		時期に関する備考
				2018年		2020年9月		
				実数	前年比	実数	前年比	
売買による 土地所有移転件数	全国	件数		1,307,100	△ 0.8	96,982	△ 3.2	2020年8月値
	首都圏		375,449	△ 1.3	26,896	△ 6.2		
	近畿圏		166,692	△ 0.2	12,082	△ 3.8		
	その他		764,959	△ 0.6	58,004	△ 1.6		
公示地価(住宅地)	全国	伸び率					0.8	2020年1月1日
都道府県地価調査(住宅地)	全国	伸び率					△ 0.7	2020年7月1日
不動産価格指数	全国	指数	住宅総合			111.9	△ 1.4	2020年7月値 2010年=100
			住宅地			97.0	△ 4.3	
			戸建			99.6	△ 2.8	
			マンション			150.2	2.3	
中古マンション	首都圏	新規登録件数		206,901	6.7	14,656	△ 14.7	
		成約件数		37,217	△ 0.3	3,328	△ 7.3	
		成約平均㎡単価(万円)		55.5	7.8	56.0	4.1	
		成約率		18%		23%		
	近畿圏	新規登録件数		64,695	9.6	5511	△ 4.9	
		成約件数		17,644	2.1	1616	△ 1.6	
		成約平均㎡単価(万円)		32.0	5.7	34	0.6	
		成約率		27%		29%		
中古戸建	首都圏	新規登録件数		67,207	8.1	5,144	△ 17.5	
		成約件数		12,718	△ 0.2	1,303	3.9	
		成約平均価格(万円)		3,142	2.3	3,168	2.5	
		成約率		19%		25%		
	近畿圏	新規登録件数		58,965	6.4	4,947	△ 8.7	
		成約件数		13,644	0.4	1,366	19.8	
		成約平均価格(万円)		2,136	3.0	2,275	5.0	
		成約率		23%		28%		
新設着工戸数	全国	戸数		942,370	△ 2.3	70,186	△ 9.9	
	首都圏		322,586	△ 4.9	25,783	△ 7.3		
	大阪圏		121,608	2.5	9,601	△ 5.3		
	名古屋圏		77,594	4.9	4,790	△ 25.2		
	その他	420,582	△ 2.8	30,012	△ 10.6			
	全国	持家	283,235	△ 0.4	22,337	△ 7.0		
		貸家	396,404	△ 5.5	25,053	△ 14.8		
		分譲住宅	255,263	0.0	22,159	△ 7.8		
新築マンション	首都圏	供給戸数		37,132	3.4	2,477	5.0	
		分譲平均㎡単価(万円)		86.9	1.2	87.7	△ 3.9	
		契約率		62%		73.4%		
		期末全残戸数		9,552	34.4	6,449	△ 4.9	
	近畿圏	供給戸数		20,958	7.1	1,228	△ 12.7	
		分譲平均㎡単価(万円)		65.9	4.6	68.2	△ 1.2	
		契約率		74%		69.2%		
		期末全残戸数		2,907	14.5	2,814	41.7	
建築費(RC工事原価)	首都圏	指数		115.2	0.8	P 120.6	0.2	2005年=100
	近畿圏			114.1	2.2	P 120.3	△ 0.4	
新築戸建	首都圏	新規登録件数		86,401	9.1	4,952	△ 30.5	
		成約件数		5,266	△ 2.7	606	14.6	
		成約平均価格(万円)		3,468	△ 1.9	3,560	0.0	
		成約率		6%		12.2%		
		在庫件数		17,204	8.5	13,164	△ 23.2	
居住用賃貸	首都圏	成約件数		224,483	△ 4.2	14,629	△ 2.4	
	近畿圏	成約件数		99,808	6.4	7,884	3.7	
	首都圏	成約㎡賃料(円)	マンション					
	全国	消費者物価指数	家賃			99.3	0.1	
オフィス賃貸	都心5区	平均賃料(円)		20,887	8.9	22,733	4.0	
		空室率		1.9%	△ 1.2	3.4%	1.8	
	大阪主要6区	平均賃料(円)		11,423	1.2	11,944	2.3	
		空室率		2.8%	△ 0.6	3.0%	1.0	
景気動向調査	全産業	%ポイント				△ 28	△ 27	2020年第3四半期の実 績値DI 比較は実績値の前期比
	不動産業				△ 9	△ 32		
	不動産業	%ポイント	大企業			△ 11	△ 44	
			中堅企業			△ 9	△ 41	
			中小企業			△ 7	△ 21	

目次

■ 目次

• 売買①土地取引の動向-1(件数推移)	・・・4P
(参)レインズによる土地取引件数の推移	・・・5P
• 売買②中古マンションの動向-1(首都圏)	・・・6P
(参)中古マンションの在庫について(首都圏)	・・・7P
中古マンションの動向-2(近畿圏)	・・・8P
(参)中古マンションのグロスデータ	・・・9P
• 売買③中古戸建の動向-1(首都圏)	・・・10P
中古戸建の動向-2(近畿圏)	・・・11P
(参)中古戸建のグロスデータ	・・・12P
• 新設着工戸数の動向-1(地域別)	・・・13P
-2(種別)	・・・14P
(参)地域別貸家の着工戸数	・・・15P
• 新築マンションの動向 -1(供給戸数と平均坪単価)	・・・16P
-2(建築費と期末在庫数)	・・・17P
• 新築戸建の動向(首都圏)	・・・18P
• (参)新築物件のグロスデータ	・・・19P
• 居住用賃貸の動向-1(件数推移)	・・・20P
-2(賃料推移/東京23区)	・・・21P
-2(賃料推移/近畿圏・家賃動向/全国)	・・・22P
• (参)一棟売り物件の動向	・・・23P
• オフィス賃貸の動向	・・・24P
• (参)商業用不動産の価格指数推移	・・・25P
• 景気動向	・・・26P
• 経済動向	・・・27P
(設備資金新規貸出高の推移)	・・・28P
(国内総生産/全国勤労者可処分所得)	・・・29P
• コメント	・・・30P
• <参考1>47都道府県:全宅連データによる売買種別売り出し件数と価格の推移	・・・31P
• <参考2>47都道府県:全宅連データによる賃貸種別登録件数と賃料の推移	・・・33P

売買 ① 土地取引の動向

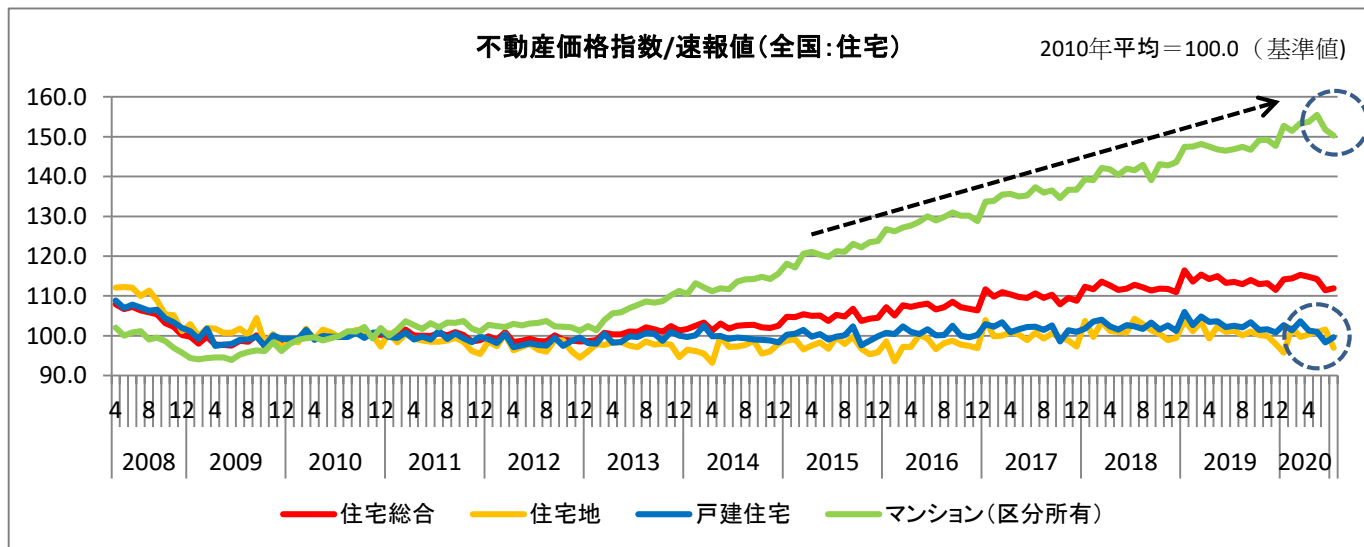
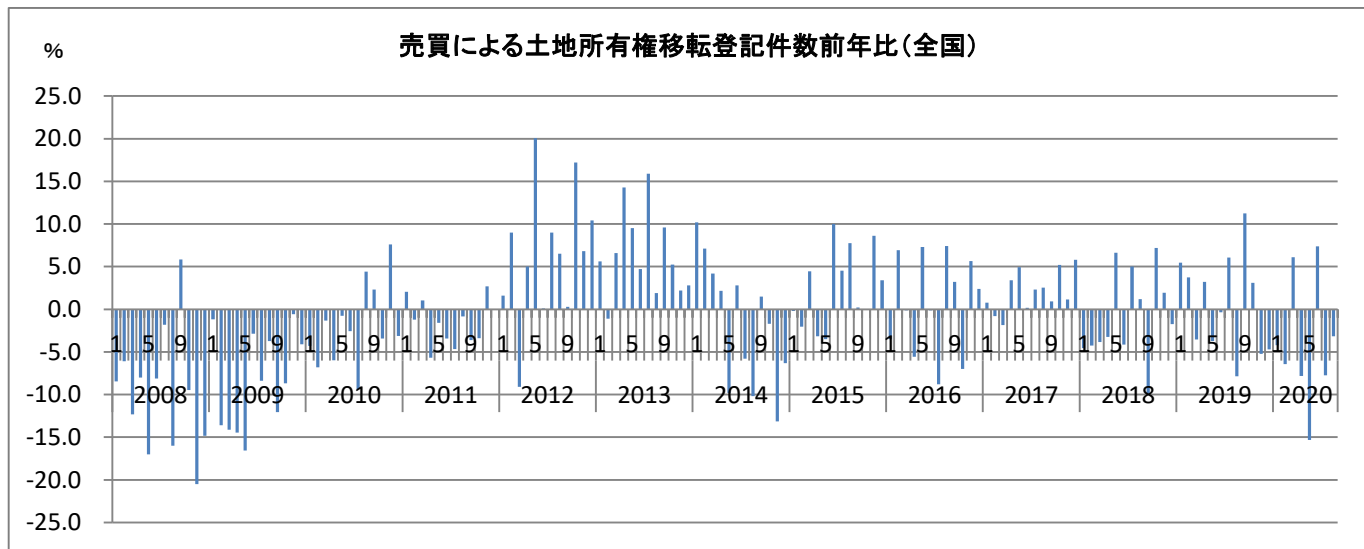
■ 件数推移

- 全国の8月の売買による土地所有権移転登記件数は、2ヶ月連続で前年を下回り△3.2%。首都圏は前年比△6.2%で2ヶ月連続でマイナス、近畿圏は△3.8%で2ヶ月連続でマイナス、その他地域も△1.6%で2ヶ月連続でマイナスだった。

■ 価格推移

- 全国住宅地の価格指数(速報値)7月は、住宅総合が111.9pで前年比△1.4%(3ヶ月連続で減)、住宅地は97.0pで同△4.3%(2ヶ月振りに減)、戸建住宅は99.6pで同△2.8%(10ヶ月連続で減)、マンションは150.2pで同+2.3%(89ヶ月連続で増)。

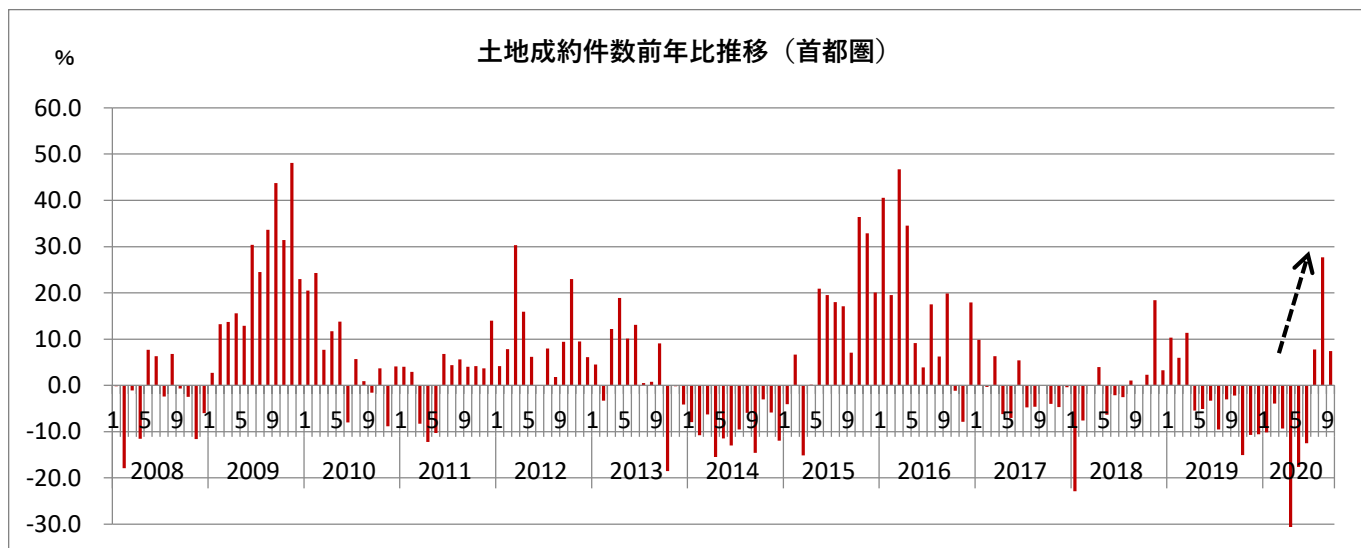
	2019					2020							
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
全国前年比	-7.9	11.3	3.1	-5.2	-4.7	-4.2	-6.4	6.1	-7.8	-15.3	7.4	-7.7	-3.2



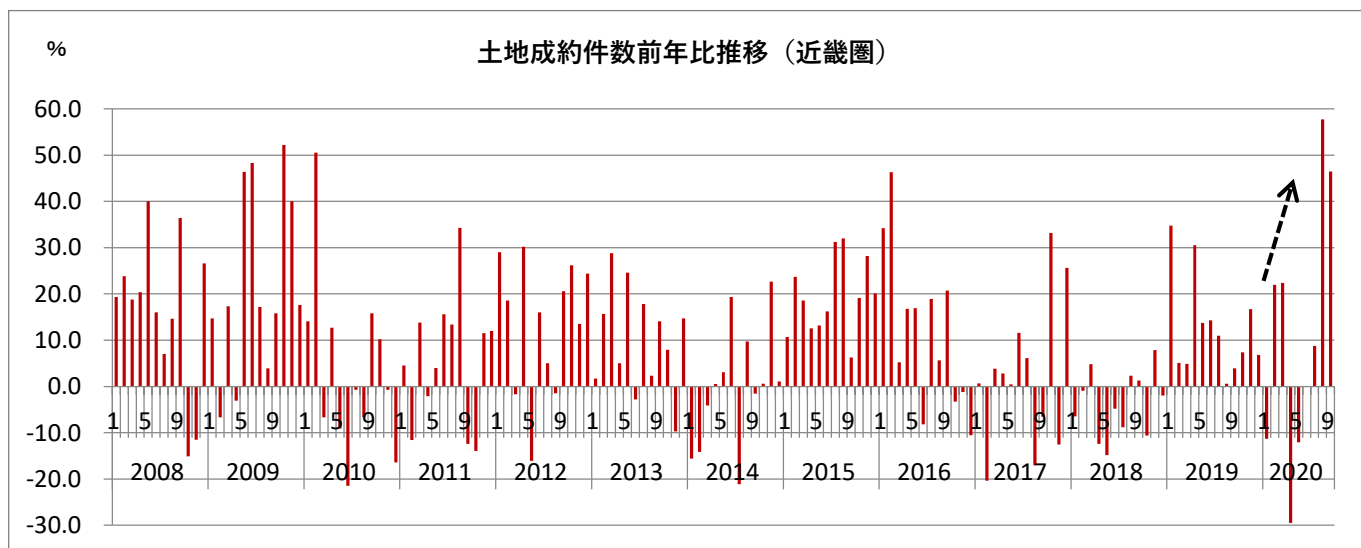
■ <参考>レインズによる土地取引件数推移(首都圏、近畿圏)

- 9月の土地(100㎡~200㎡)の成約件数は、首都圏が、前年比+7.4%で、3ヶ月連続でプラス、近畿圏は前年比で+46.5で、4ヶ月連続でプラスだった。

	2019				2020								
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
首都圏成約件数前年比	-2.2	-15.1	-10.7	-10.5	-10.1	-3.9	-9.3	-34.5	-17.6	-12.5	7.8	27.7	7.4
近畿圏成約件数前年比	3.9	7.4	16.7	6.8	-11.3	21.9	22.4	-29.5	-12.1	0.0	8.7	57.7	46.5



出典:(公社)東日本不動産流通機構「首都圏流通市場の動向」

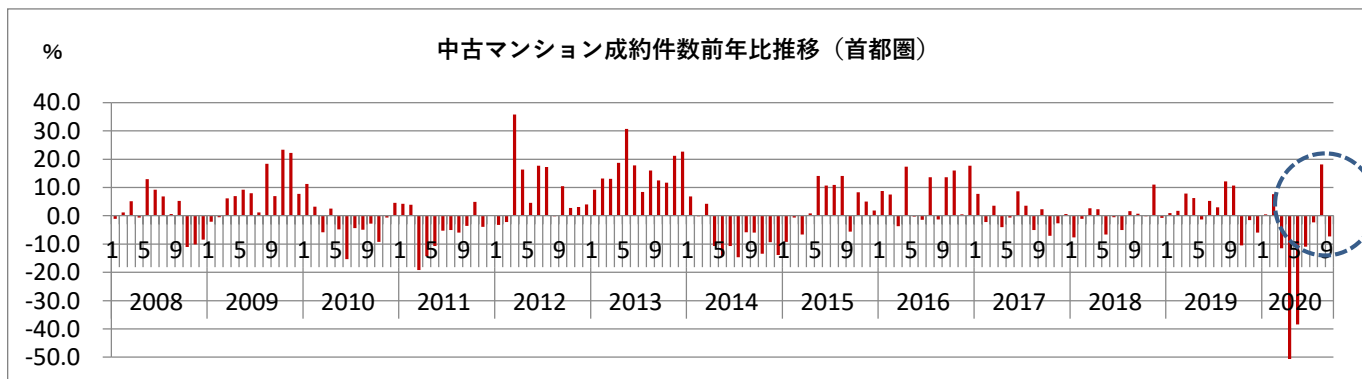
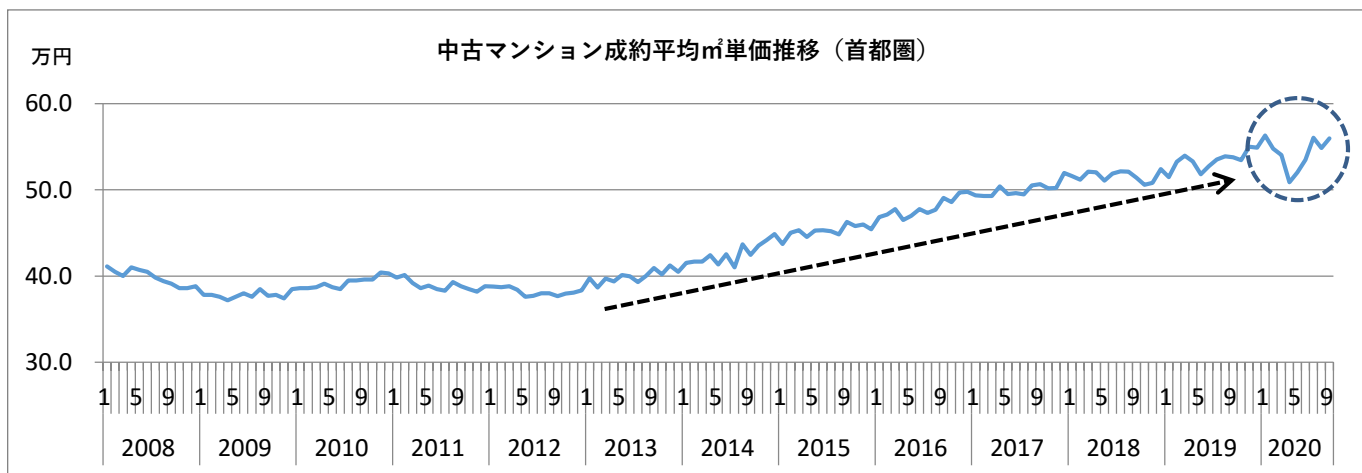
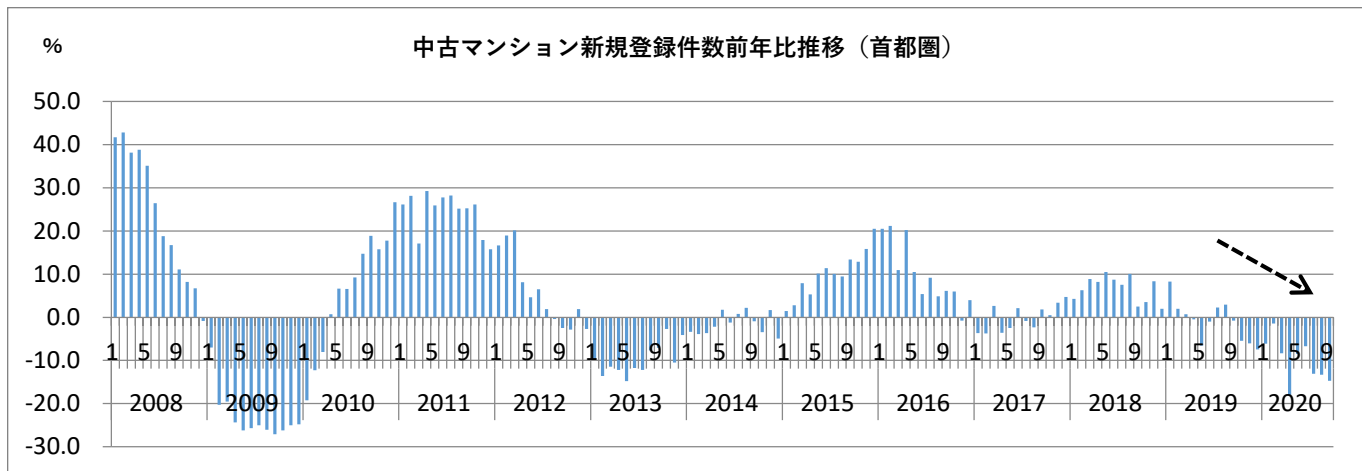


出典:(公社)近畿圏不動産流通機構「マンスリーレポート」

売買 ② 中古マンションの動向-1（首都圏）

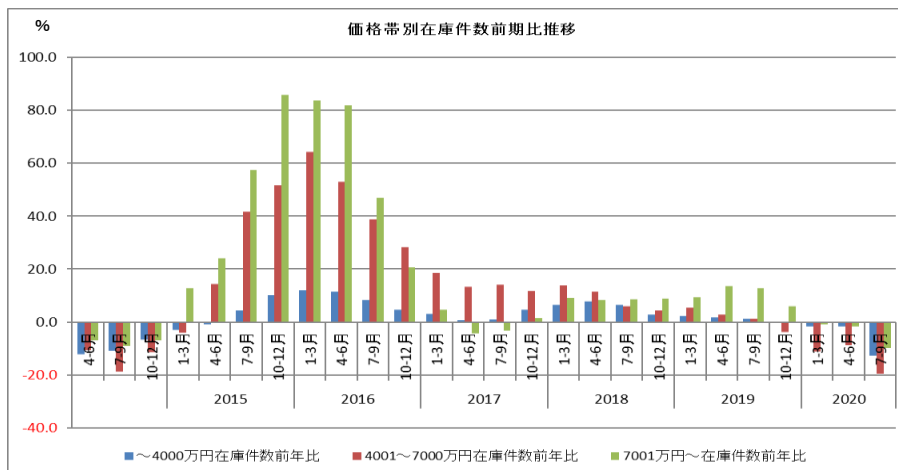
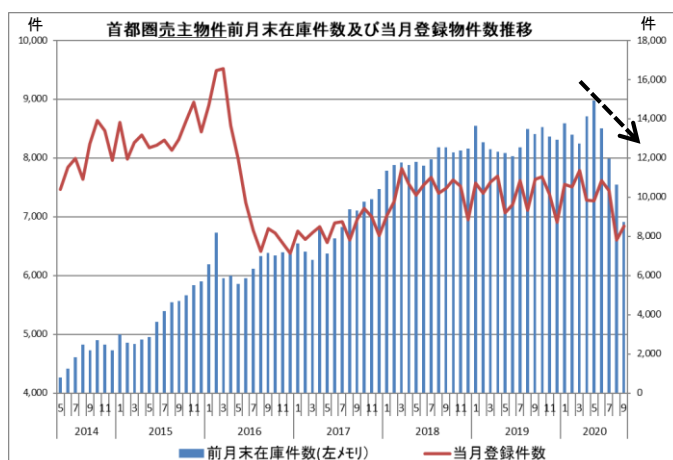
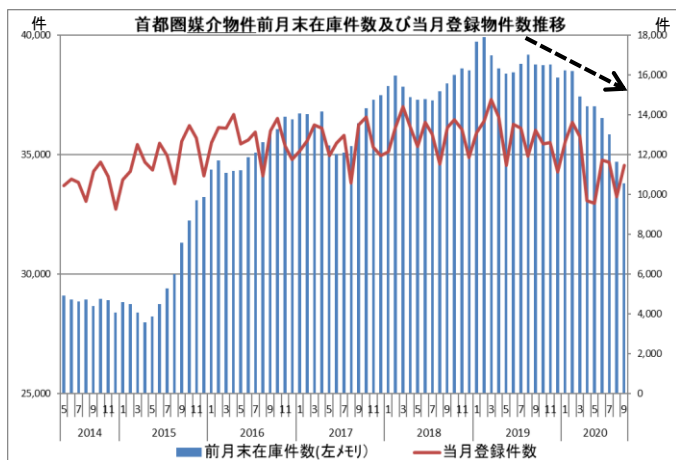
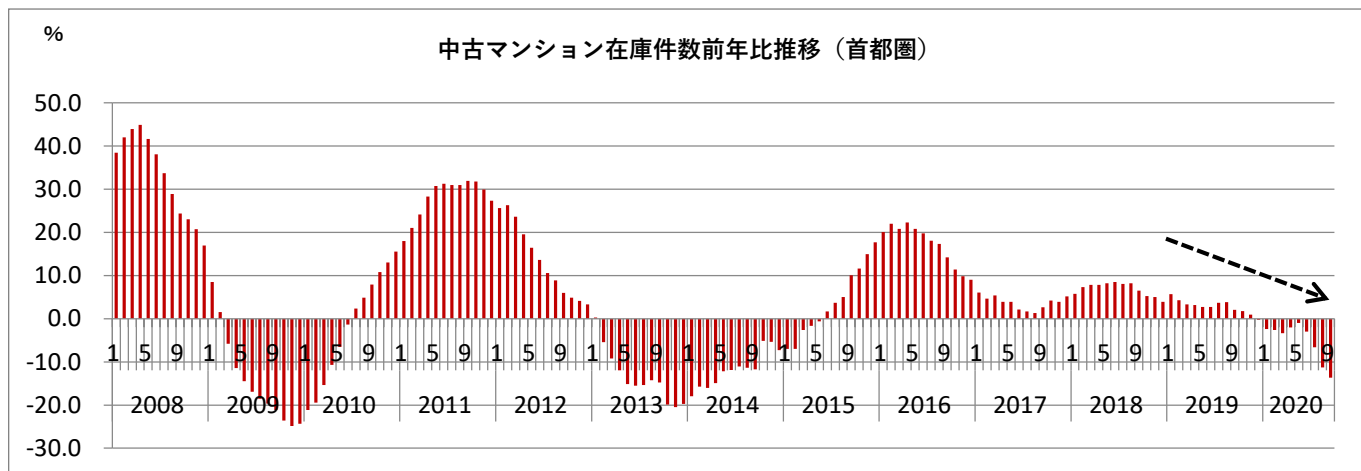
- 9月の新規登録件数は13ヶ月連続で前年を下回り、前年比△14.7%。
- 成約件数は2ヶ月振りに前年を下回り、前年比△7.3%。
- 成約平均㎡単価は5ヶ月連続で前年を上回り、前年比+4.1%。

	2019				2020								
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
成約件数前年比	10.6	-10.5	-1.6	-5.9	0.5	7.6	-11.5	-52.6	-38.5	-11.0	-2.4	18.2	-7.3
成約単価前年比	4.7	5.7	8.2	4.7	9.4	2.8	0.2	-4.5	0.4	1.4	4.7	1.8	4.1



■ <参考> 首都圏中古マンション在庫数について

- 在庫数は10ヶ月連続で前年比で減少し、9月は△13.7%。
- 在庫数の中身を見てみると、
 - 9月取引態様別：媒介物件は前年比△12.9%、売主物件は、同△17.7%
 - 価格帯（第2四半期）：～4000万円は前期比△12.8%、4001万～7000万は△19.6%、7001万～は△9.8%



■ 前月末在庫前年比

	2019年	2020年
	9月	9月
媒介物件	2.1	-12.9
売主物件	2.8	-17.7

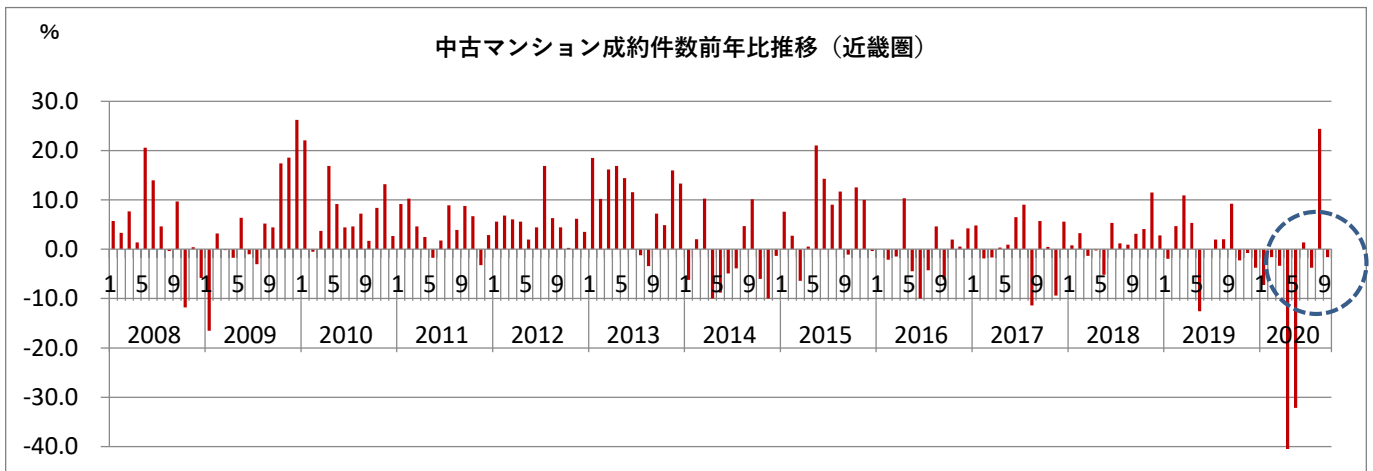
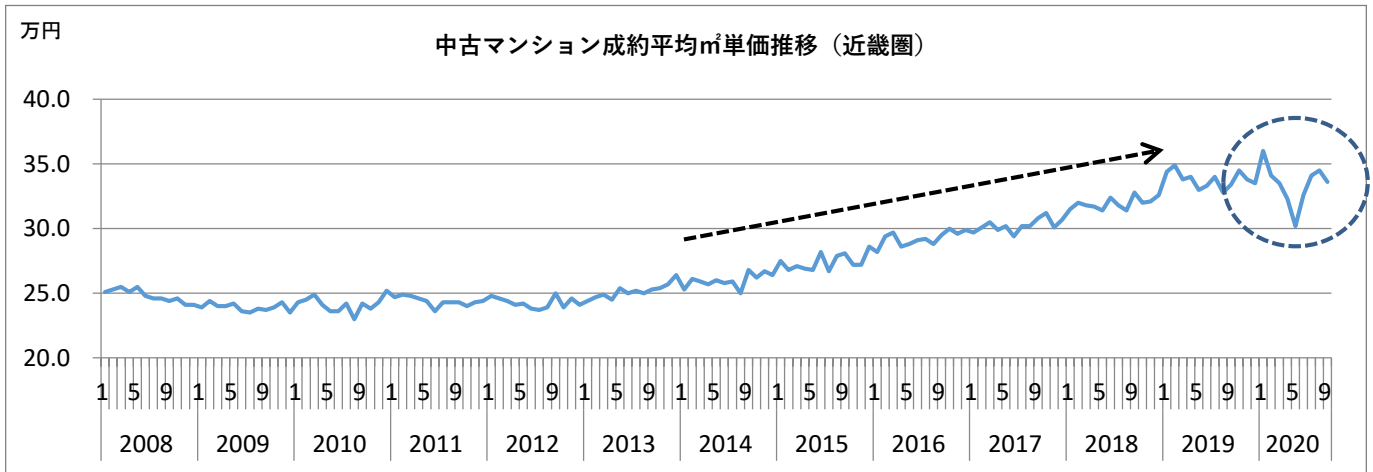
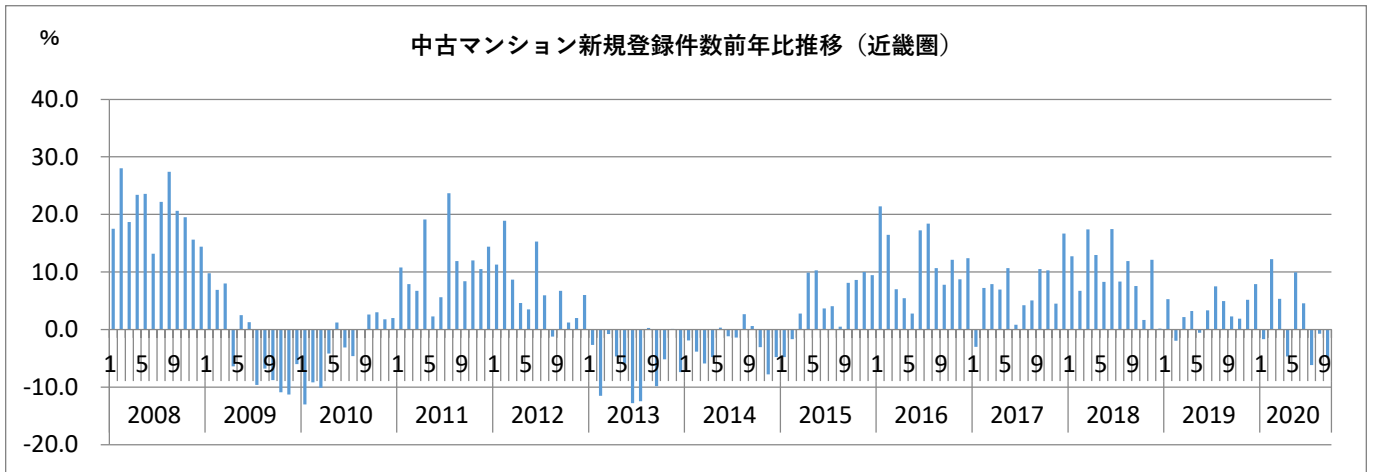
■ 価格帯別在庫前期比

	2019年	2020年
	7-9月	7-9月
～4000万円	0.0	-12.8
4001～7000万円	-3.7	-19.6
7001万円～	5.8	-9.8

中古マンションの動向-2（近畿圏）

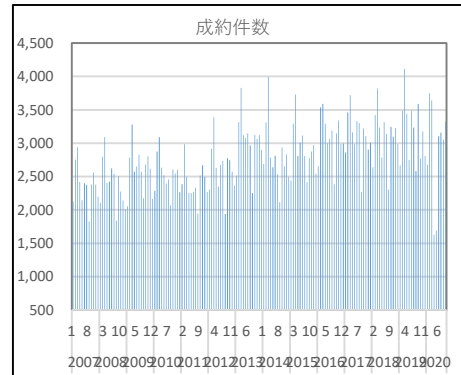
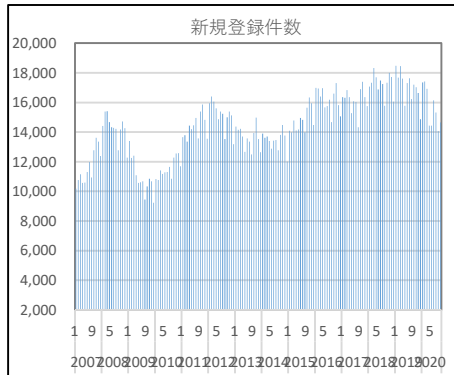
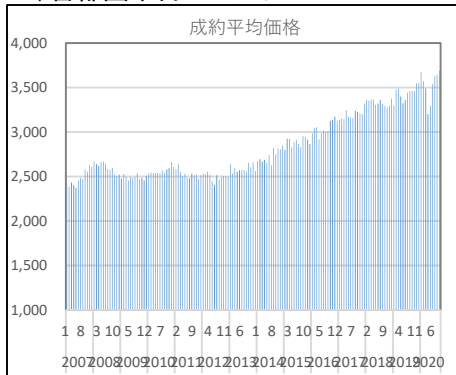
- 9月の新規登録件数は3ヶ月連続で前年を下回り、前年比△4.9%。
- 成約件数は2ヶ月振りに前年を下回り、前年比△1.6%。
- 成約平均㎡単価は3ヶ月連続で前年を上回り、前年比+0.6%。

	2019				2020								
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
成約件数前年比	9.2	-2.3	-0.7	-3.8	-7.2	-1.6	-3.4	-41.9	-32.1	1.4	-3.7	24.4	-1.6
成約単価前年比	1.8	7.8	5.3	2.8	4.7	-2.3	-0.9	-5.0	-8.5	-2.1	0.3	5.2	0.6

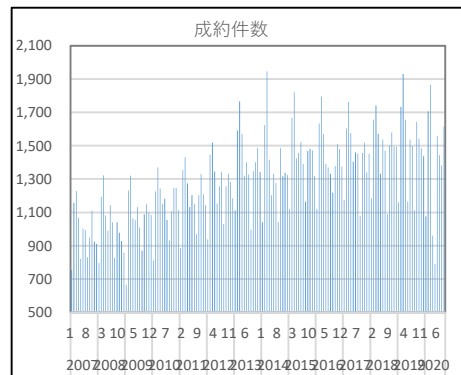
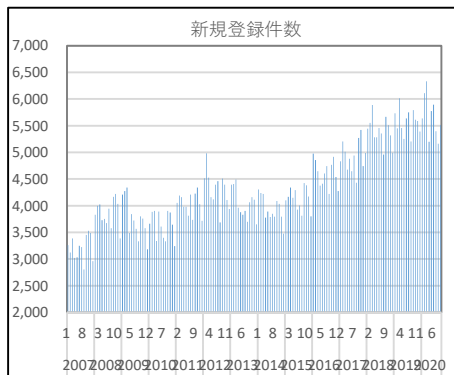
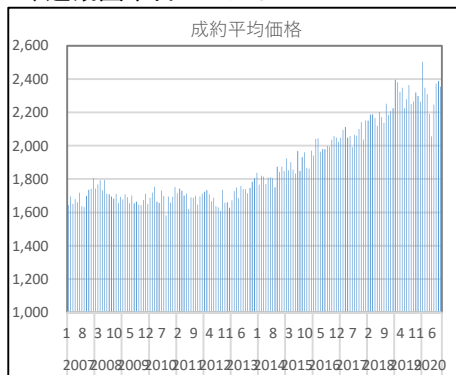


■ <参考>中古マンショングロスデータ

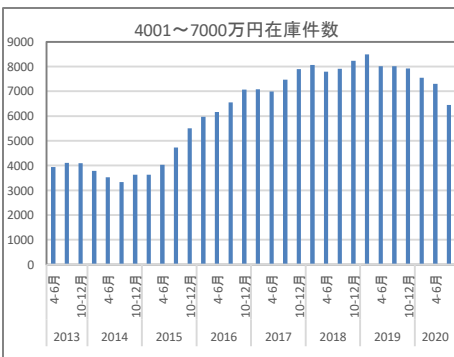
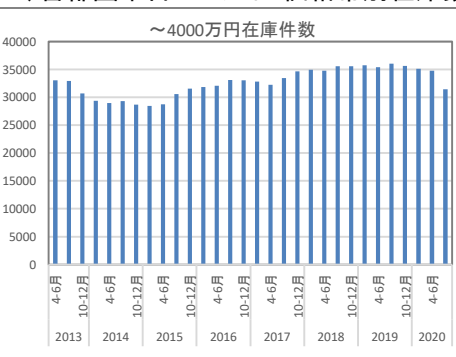
1、首都圏中古マンション



2、近畿圏中古マンション



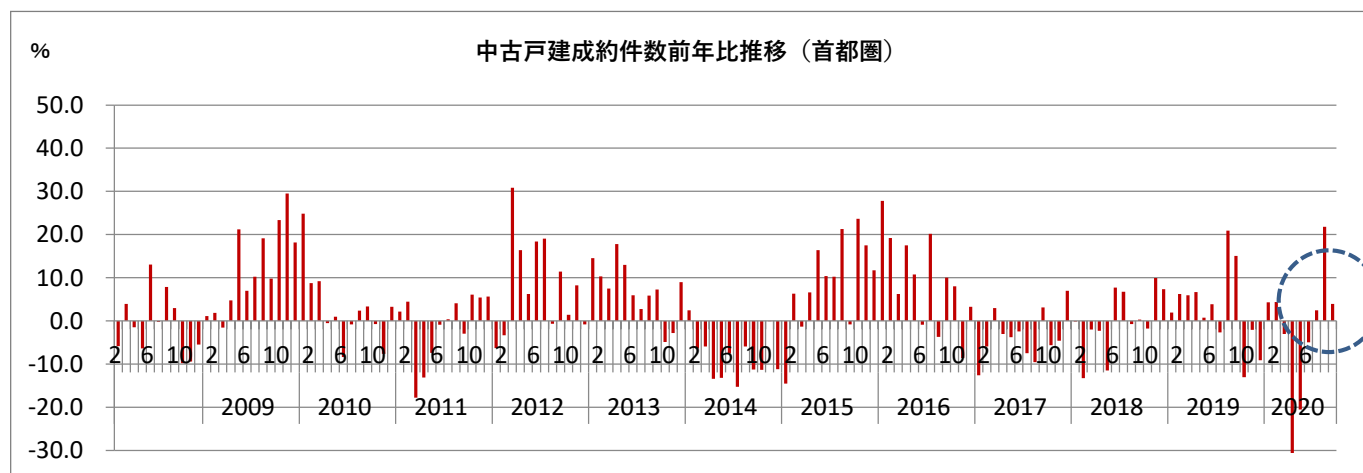
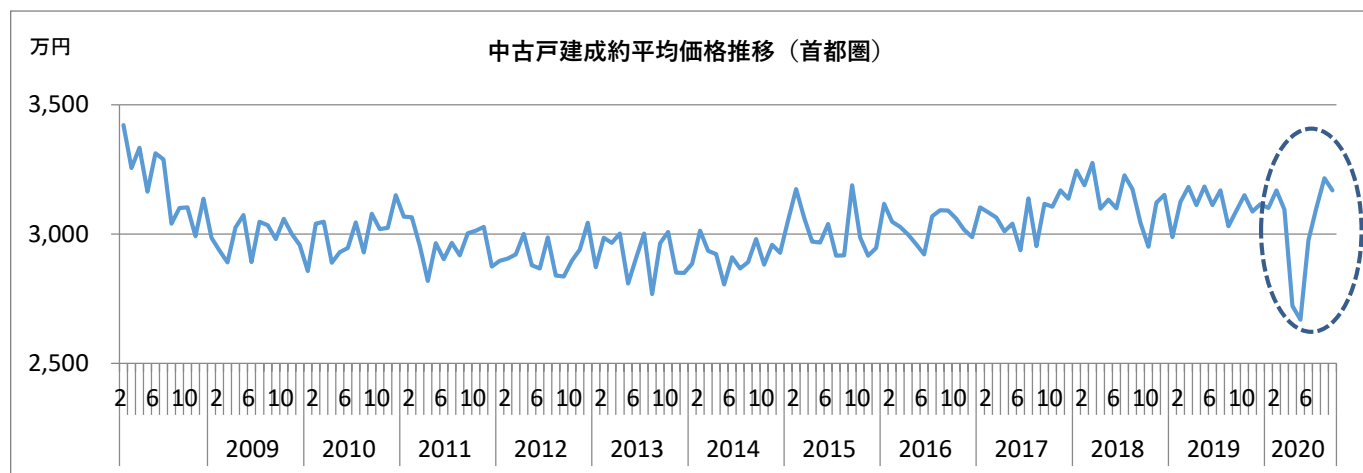
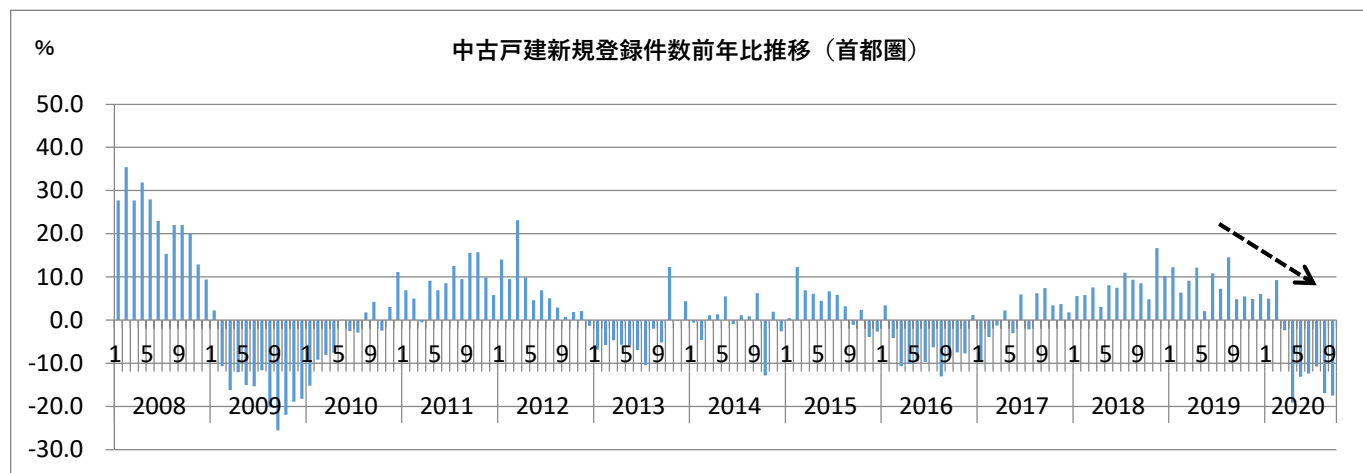
3、首都圏中古マンション価格帯別在庫数



売買 ③ 中古戸建の動向-1（首都圏）

- 9月の新規登録件数は7ヶ月連続で前年を下回り、前年比△17.5%。
- 成約件数は3ヶ月連続で前年を上回り、前年+3.9%。
- 成約平均価格は2ヶ月連続で前年を上回り、前年比+2.5%。

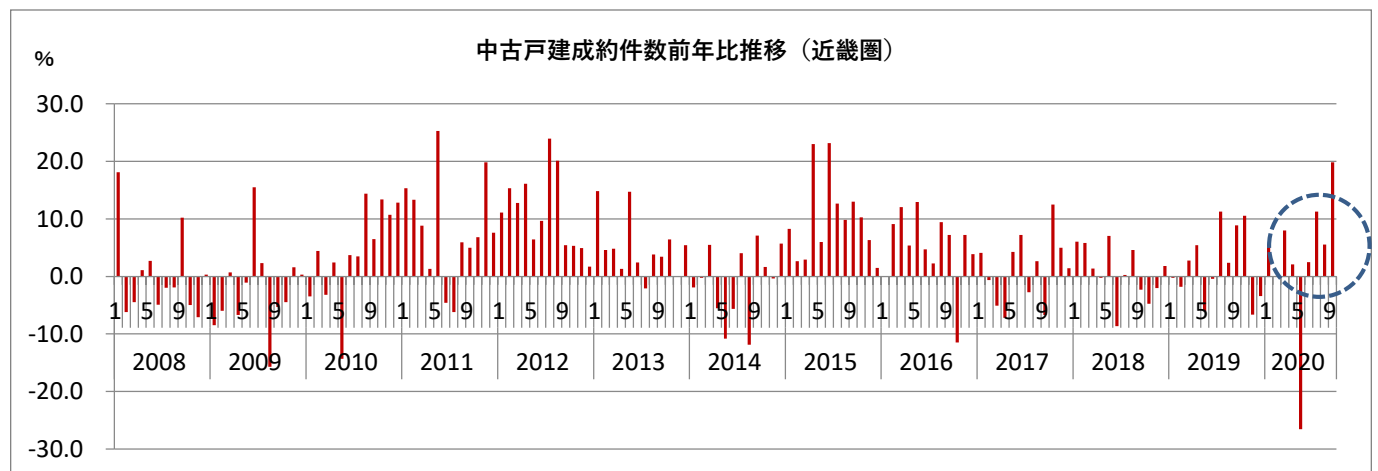
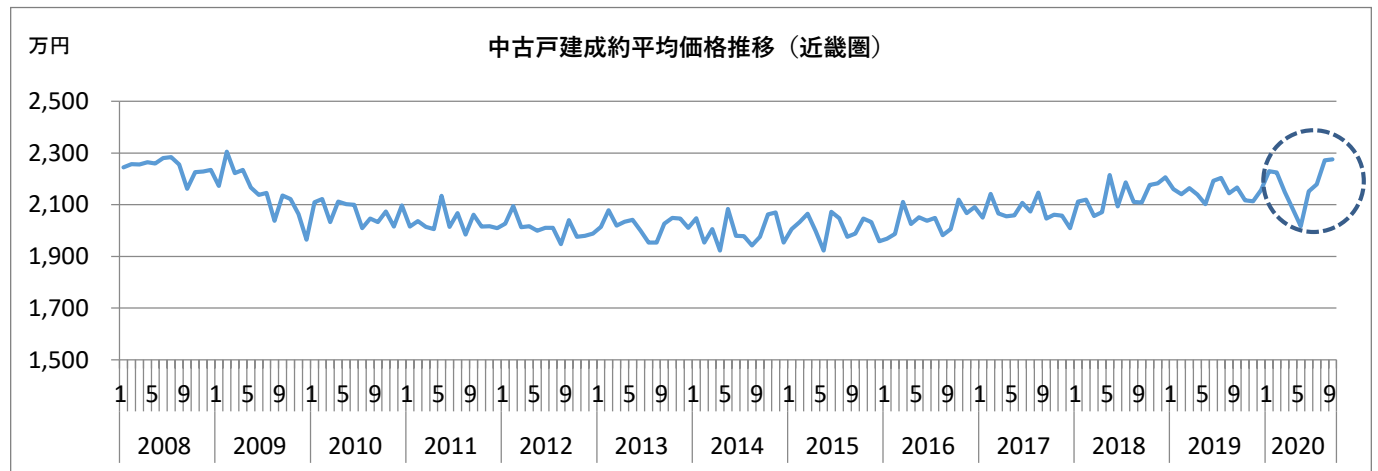
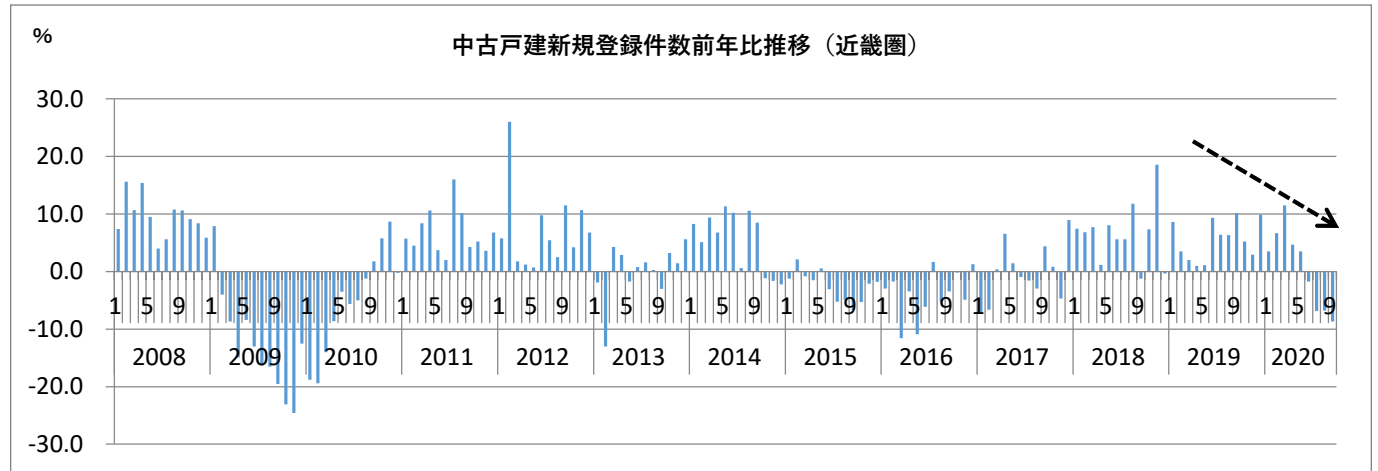
	2019				2020								
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
成約件数前年比	15.0	-13.0	-2.0	-9.1	4.3	4.4	-3.0	-41.5	-20.5	-4.9	2.4	21.8	3.9



中古戸建の動向-2（近畿圏）

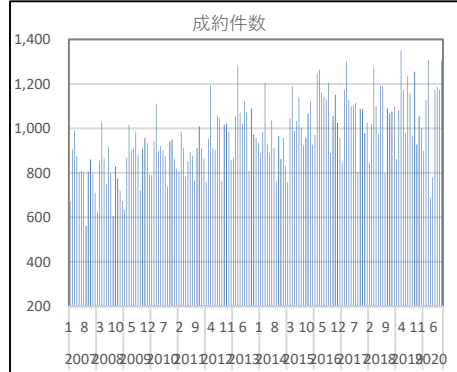
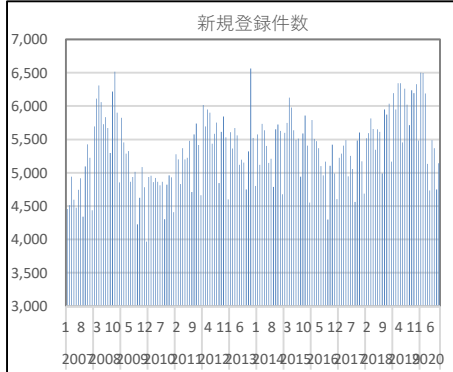
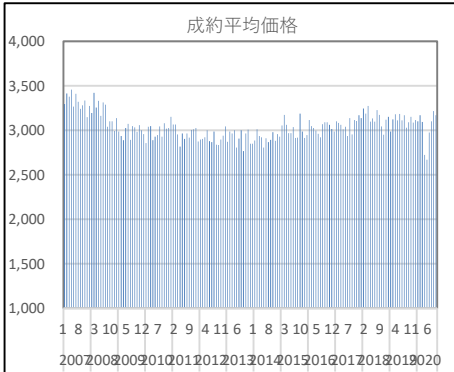
- 9月の新規登録件数は4ヶ月連続で前年を下回り、前年比△8.7%。
- 成約件数は4ヶ月連続で前年を上回り、前年比+19.8%。
- 成約平均価格は2ヶ月連続で前年を上回り、前年比+5.0%。

	2019				2020								
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
成約件数前年比	8.9	10.6	-6.6	-3.4	5.6	0.1	8.0	2.1	-26.5	2.5	11.3	5.5	19.8

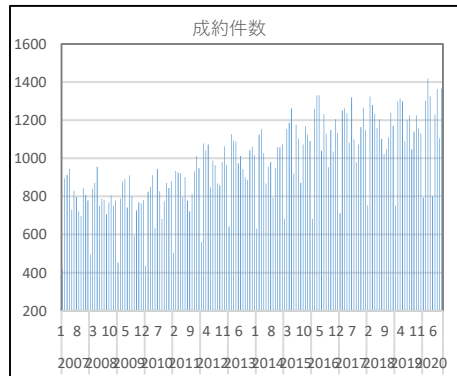
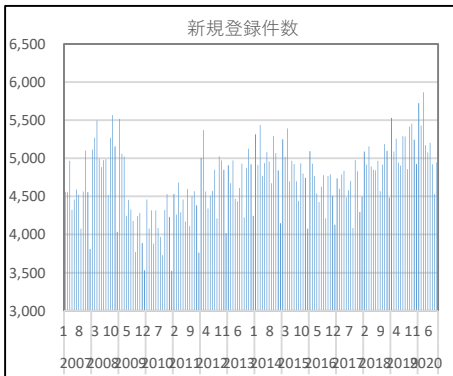
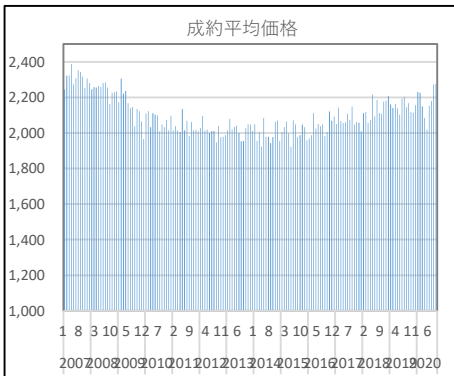


■ ＜参考＞中古戸建グロスデータ

1、首都圏中古戸建



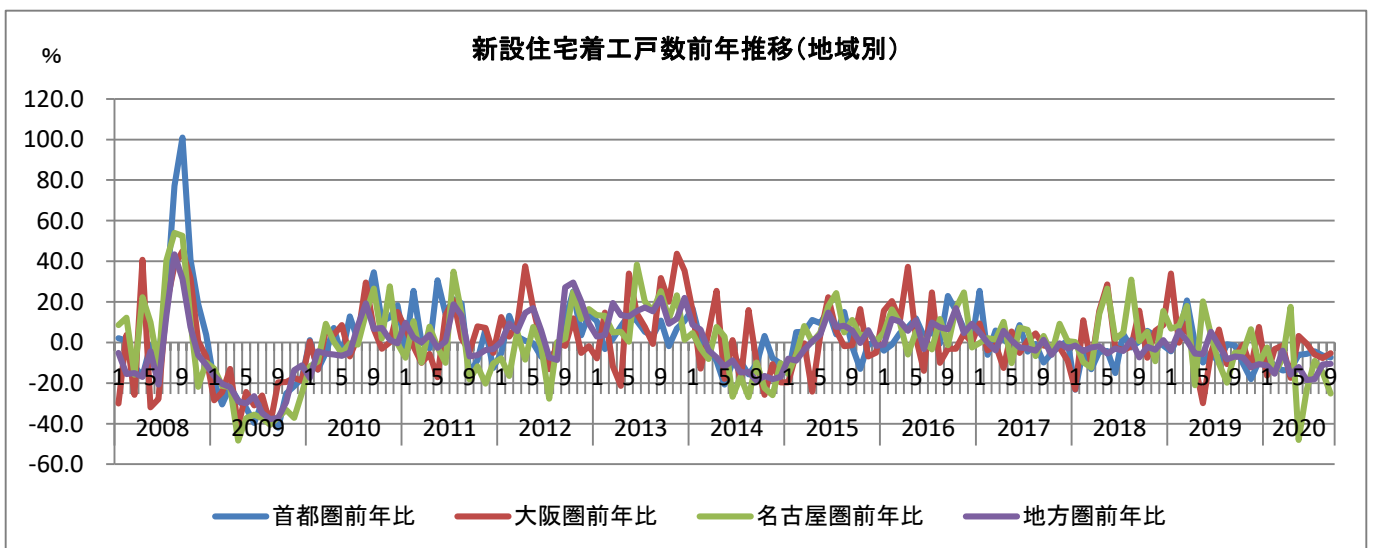
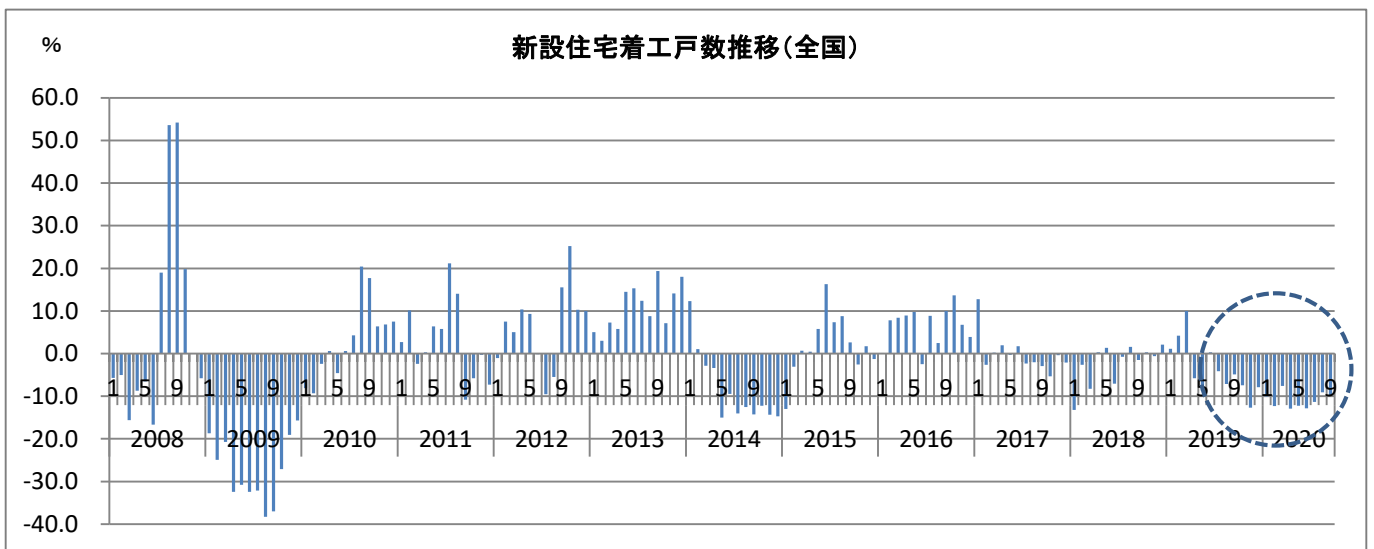
2、近畿圏中古戸建



新設着工戸数の動向-1(地域別)

- 9月の全国の着工戸数は15ヶ月連続で前年を下回り、前年比△9.9%だった。
- 地域別では、首都圏 △7.3%(18ヶ月連続で減)、大阪圏 △5.3%(4ヶ月連続で減)、名古屋圏 △25.2%(5ヶ月連続で減)、地方圏 △10.6%(15ヶ月連続で減)。

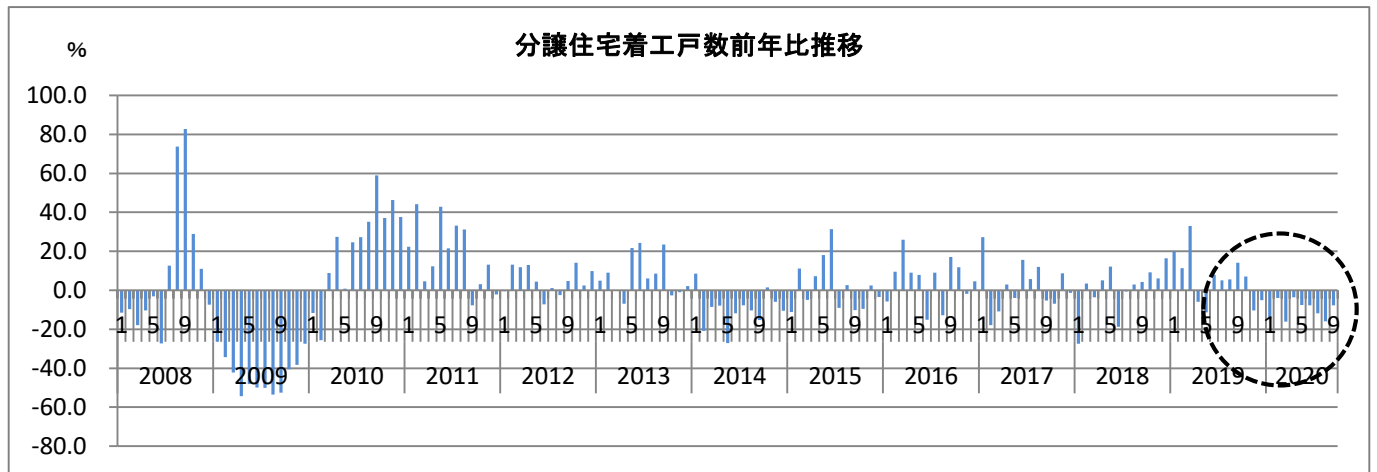
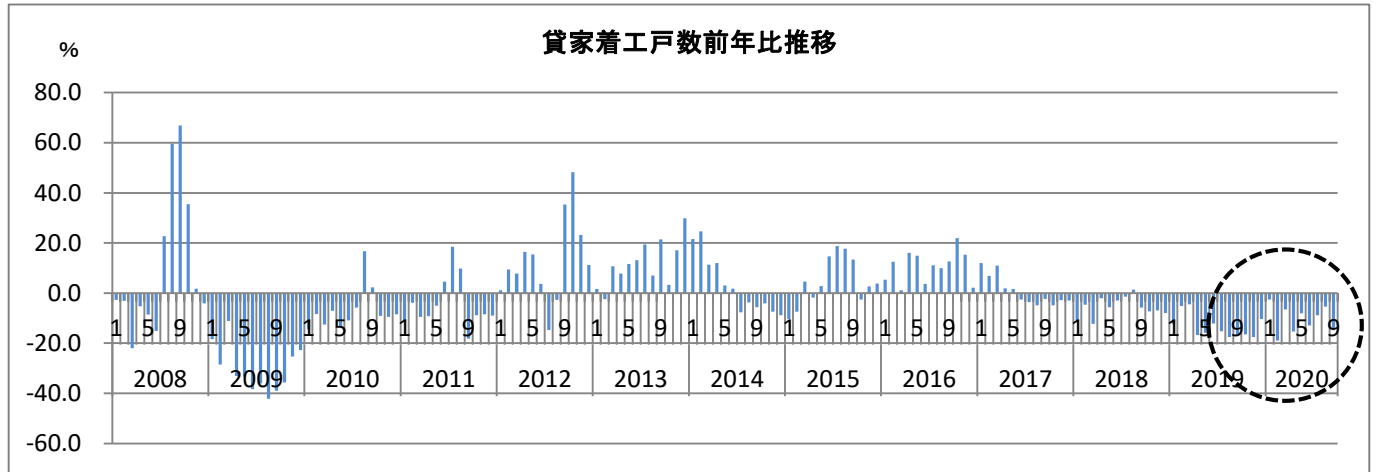
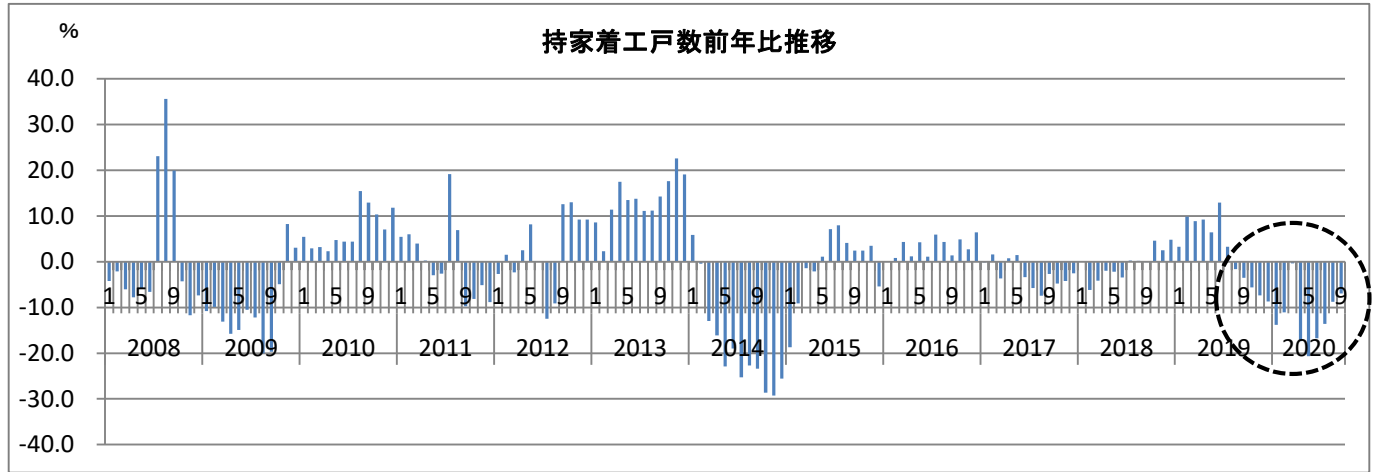
	2019				2020								
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
総数前年比	-4.9	-7.4	-12.7	-7.9	-10.1	-12.3	-7.6	-12.9	-12.3	-12.8	-11.4	-9.1	-9.9
首都圏前年比	-1.5	-10.4	-18.0	-9.0	-7.7	-11.4	-13.8	-13.1	-6.1	-5.7	-4.4	-6.4	-7.3
大阪圏前年比	-7.1	-1.0	-12.2	7.7	-16.3	-3.2	-1.5	-17.4	3.2	-0.6	-6.0	-7.6	-5.3
名古屋圏前年比	-4.9	-4.9	6.5	-10.4	-2.5	-15.1	-8.0	17.6	-47.9	-23.5	-9.1	-14.7	-25.2
地方圏前年比	-6.8	-7.3	-12.0	-10.7	-11.2	-15.4	-4.0	-15.9	-12.1	-18.6	-18.1	-10.7	-10.6



新設着工戸数の動向-2(種類別)

- 種別では、持家 $\Delta 7.0\%$ (14ヶ月連続で減)、貸家 $\Delta 14.8\%$ (25ヶ月連続で減)、分譲住宅 $\Delta 7.8\%$ (11ヶ月連続で減)。

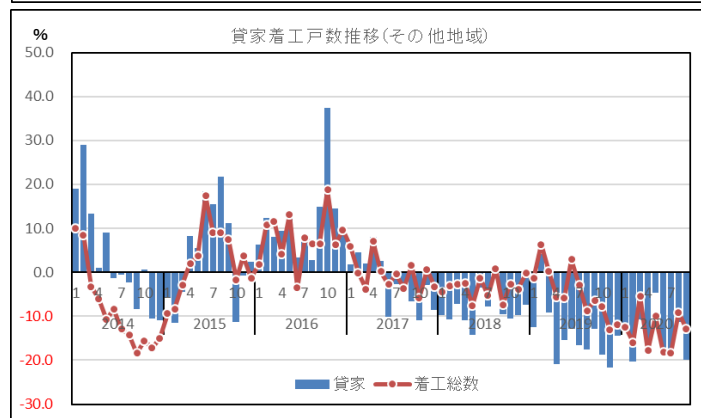
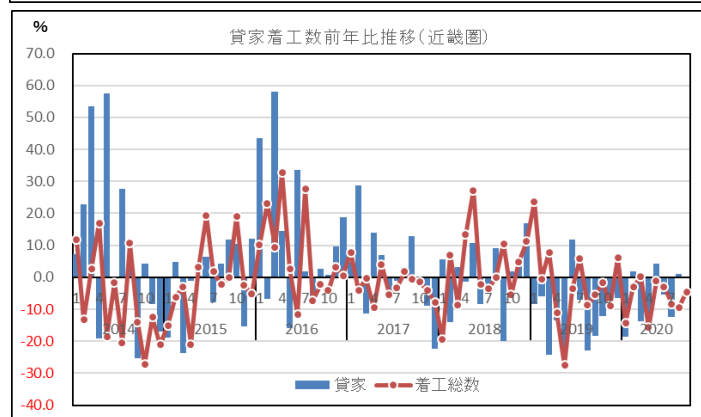
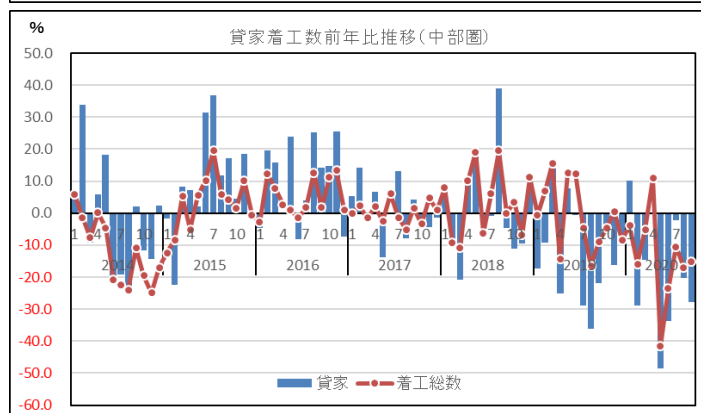
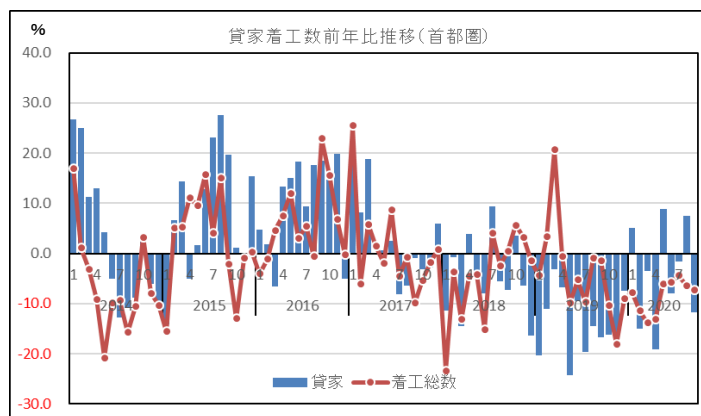
	2019				2020								
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
総数前年比	-4.9	-7.4	-12.7	-7.9	-10.1	-12.3	-7.6	-12.9	-12.3	-12.8	-11.4	-9.1	-9.9
持家前年比	-3.5	-5.6	-7.3	-8.7	-13.8	-11.1	-0.3	-17.4	-20.7	-16.7	-13.6	-8.8	-7.0
貸家前年比	-16.8	-16.5	-17.5	-10.3	-2.5	-18.9	-6.6	-15.4	-8.1	-13.0	-8.9	-5.4	-14.8
分譲住宅前年比	14.1	7.0	-10.3	-5.1	-14.6	-3.9	-16.1	-3.6	-7.6	-7.7	-11.8	-15.9	-7.8



■ <参考> 地域別貸家の着工戸数

・9月の貸家の着工戸数の前年比

- ① 首都圏は、2ヶ月振りに減少
△11.7%(着工総数は△7.3%)
- ② 中部圏は、8ヶ月連続で減少
△27.8%(同△15.2%)
- ③ 近畿圏は、3ヶ月振りに増加
+0.9%(同△4.5%)
- ④ その他地域は、19ヶ月連続で
減少△19.8%(同△13.0%)



新築マンションの動向-1(供給戸数と平均坪単価)

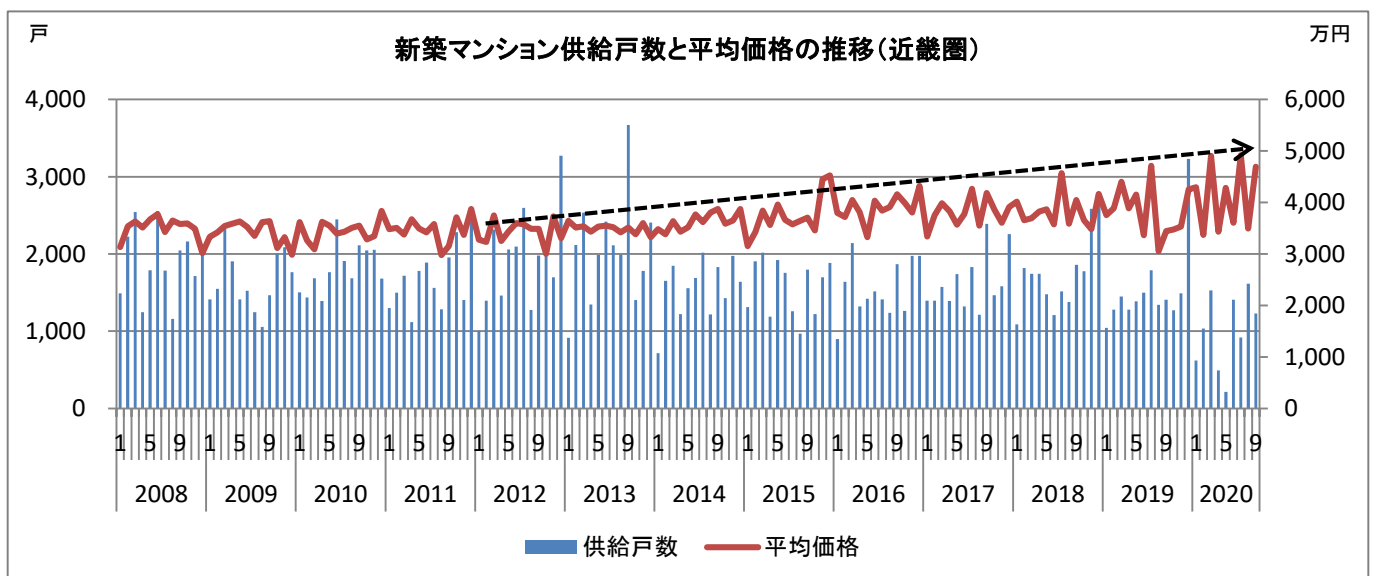
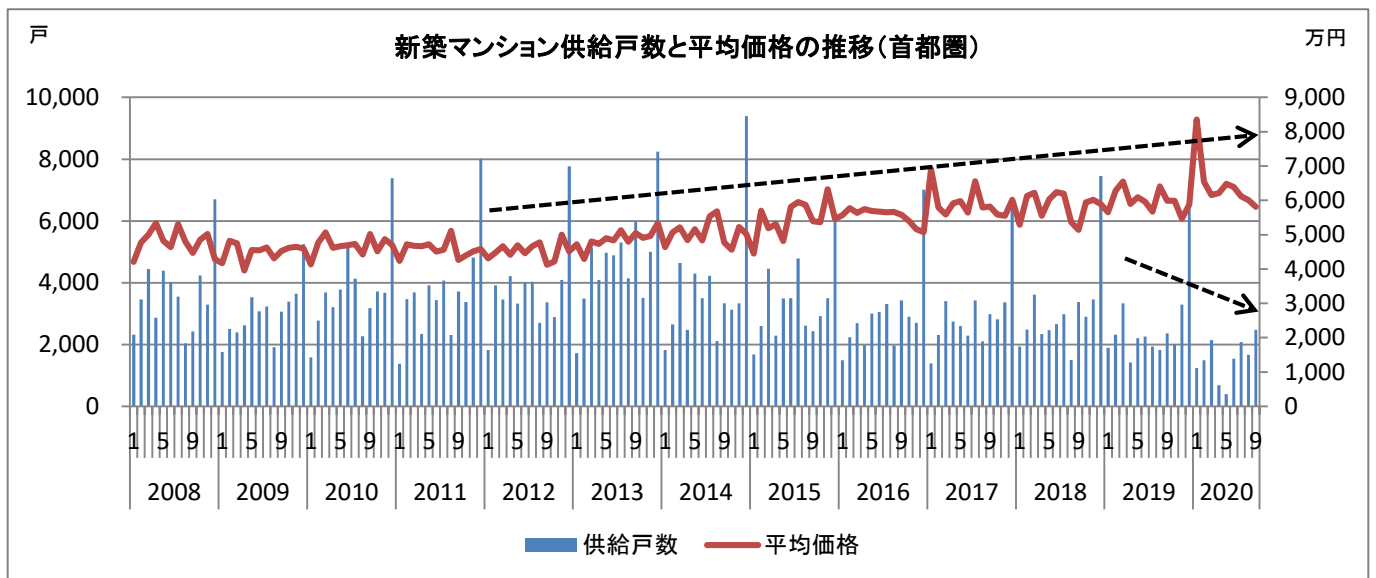
■ 首都圏

- 9月の供給戸数は2ヶ月振りに前年を上回り前年比+5.0%。分譲平均㎡単価は9ヶ月振りに前年を下回り△3.9%。初月契約率は73.4%。

■ 近畿圏

- 9月の供給戸数は2ヶ月振りに前年を下回り△12.7%。分譲平均㎡単価は3ヶ月振りに前年を下回り△1.2%。初月契約率は69.2%。

	2019				2020								
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
首都圏供給戸数前年比	-30.0	-30.7	-4.9	-14.3	-34.5	-35.9	-35.8	-51.7	-82.2	-31.7	7.8	-8.2	5.0
近畿圏供給戸数前年比	-24.4	-28.4	-42.3	17.0	-40.5	-19.2	5.5	-61.4	-84.6	-6.2	-48.5	20.6	-12.7
首都圏平均㎡単価前年比	14.1	2.8	-9.9	-2.7	55.2	6.9	2.7	9.6	21.3	5.4	6.2	4.2	-3.9
近畿圏平均㎡単価前年比	8.3	4.7	-11.2	8.1	-1.4	2.6	13.7	-3.1	-4.2	-2.0	1.3	47.2	-1.2

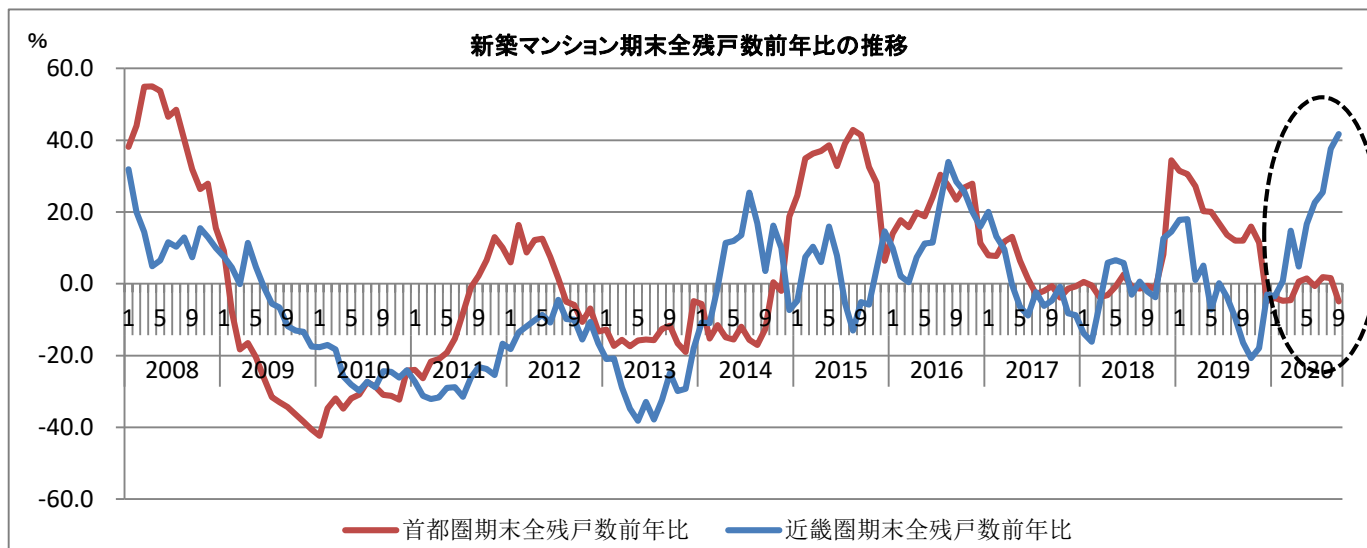


新築マンションの動向-2(建築費と期末在庫数推移)

■ 期末販売在庫数

- 9月の期末在庫数は首都圏は3ヶ月振りに前年を下回り、前年比△4.9%。
- 近畿圏は8ヶ月連続で前年を上回り、前年比+41.7%。

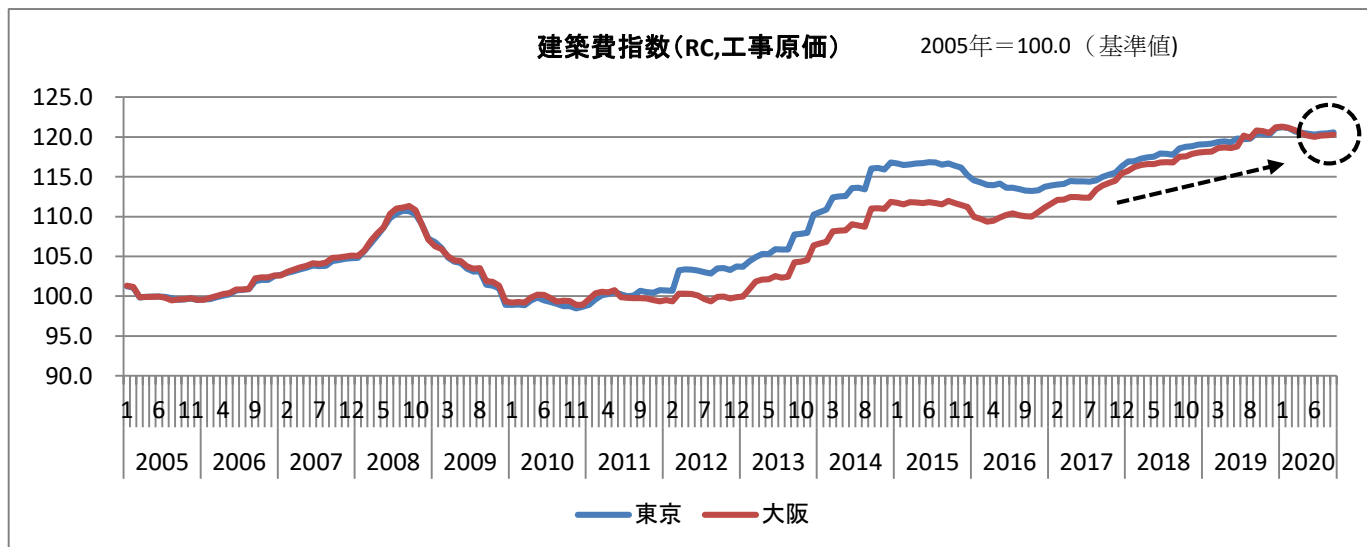
	2019				2020								
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
首都圏残戸数前年比	12.1	16.0	11.5	-4.8	-3.9	-4.7	-4.6	0.6	1.5	-0.7	1.9	1.6	-4.9
近畿圏残戸数前年比	-16.4	-20.7	-17.9	-3.0	-3.5	0.7	14.8	4.8	16.7	22.6	25.5	37.6	41.7



出典:株式会社不動産経済研究所

■ 建築費

- RCの建築費指数(集合住宅RC工事原価)の9月は、東京は120.6pで、2ヶ月振りに前年比を上回り+0.2p。大阪は120.3pで2ヶ月連続で前年を下回り△0.4pだった。
- 前月比は、東京+0.1p、大阪+0.1p。

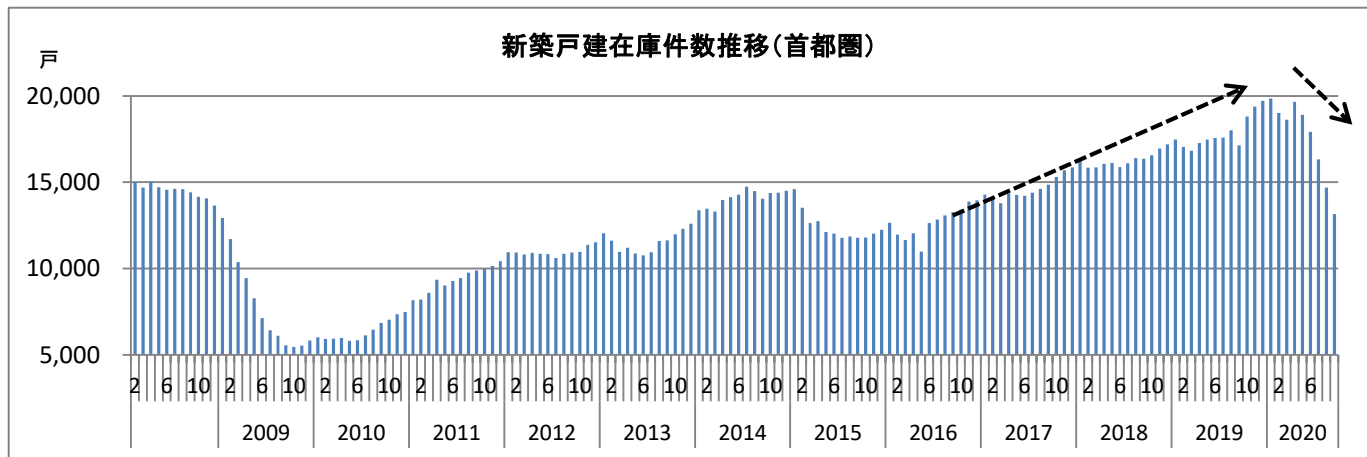
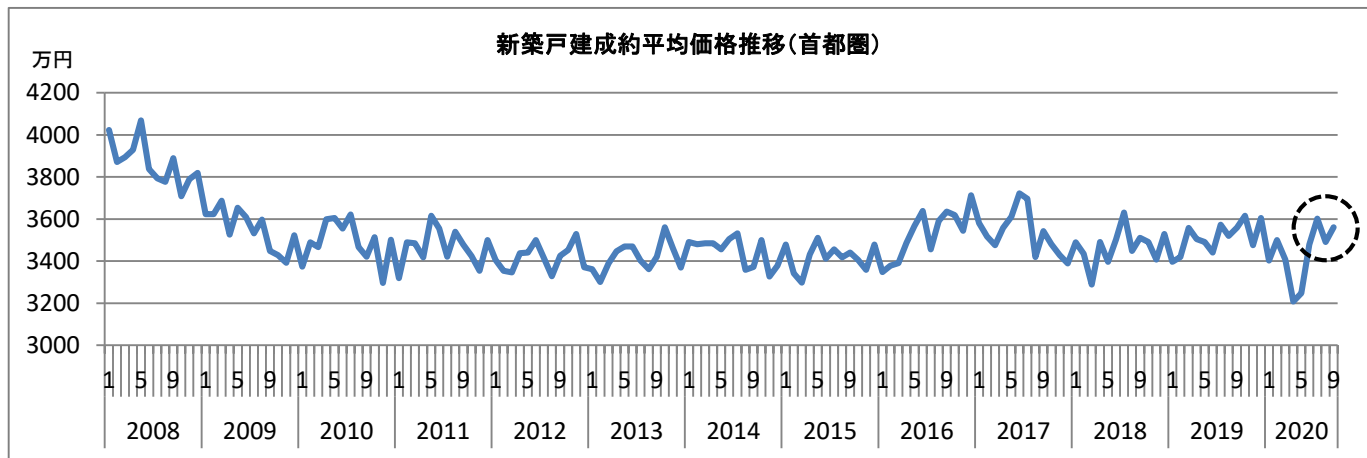
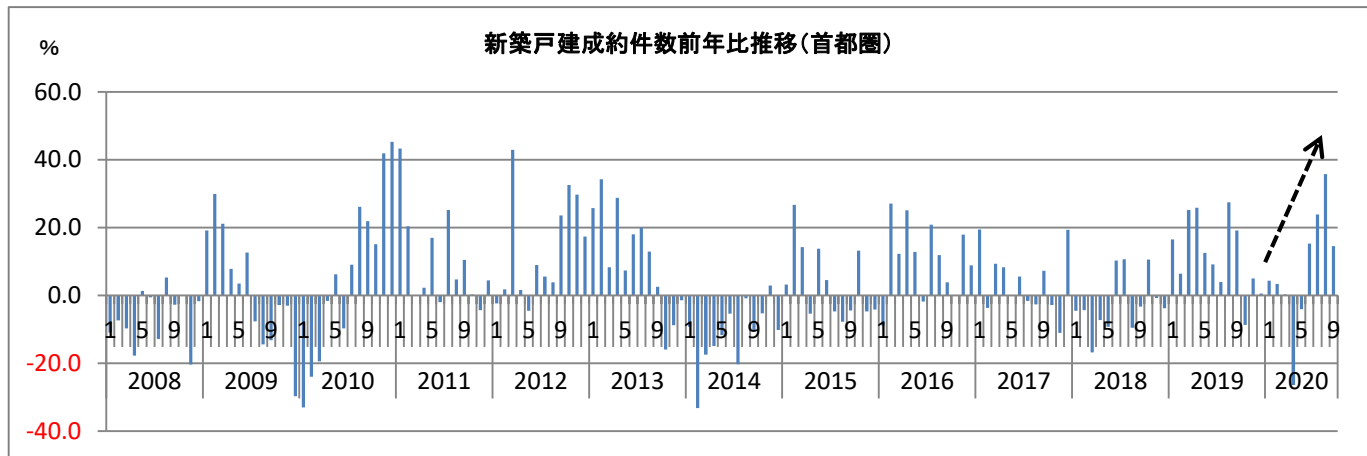


出典: (一社)建設物価調査会「建築費指数、建設物価指数月報」

新築戸建の動向(首都圏)

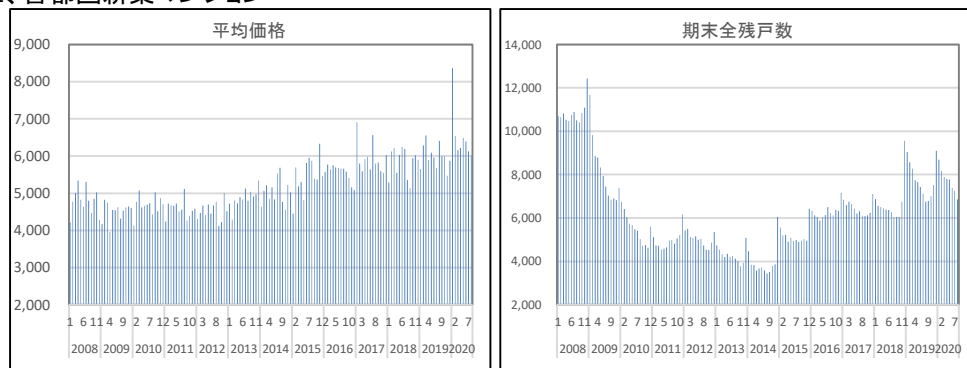
- 9月の新規登録件数は10ヶ月連続で前年を下回り、前年比△30.5%。
- 成約件数は4ヶ月連続で前年を上回り、前年比+14.6%。
- 成約平均価格は2ヶ月振りに前年を上回り、前年比+0.03%。
- 在庫件数は3ヶ月連続で前年を下回り、前年比△23.2%。

	2019				2020								
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
成約件数前年比	19.1	-8.7	5.0	0.5	4.3	3.4	0.3	-26.4	-4.0	15.3	23.9	35.8	14.6
在庫件数前年比	4.7	13.5	14.3	14.6	13.5	11.5	10.7	13.8	8.1	2.0	-7.2	-18.4	-23.2

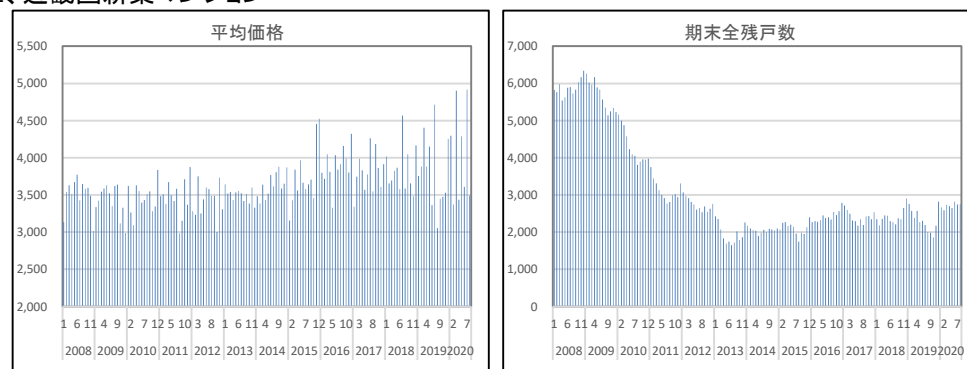


■ <参考>新築物件グロスデータ

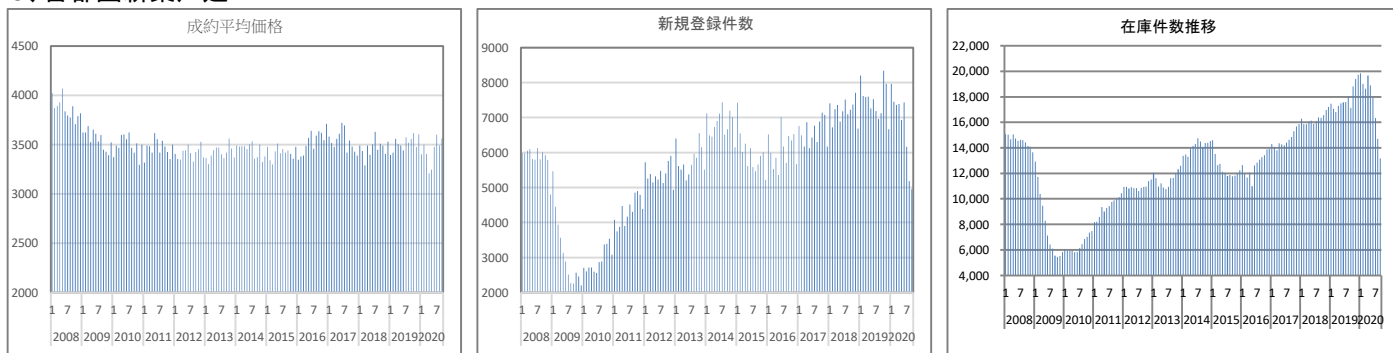
1、首都圏新築マンション



2、近畿圏新築マンション



3、首都圏新築戸建



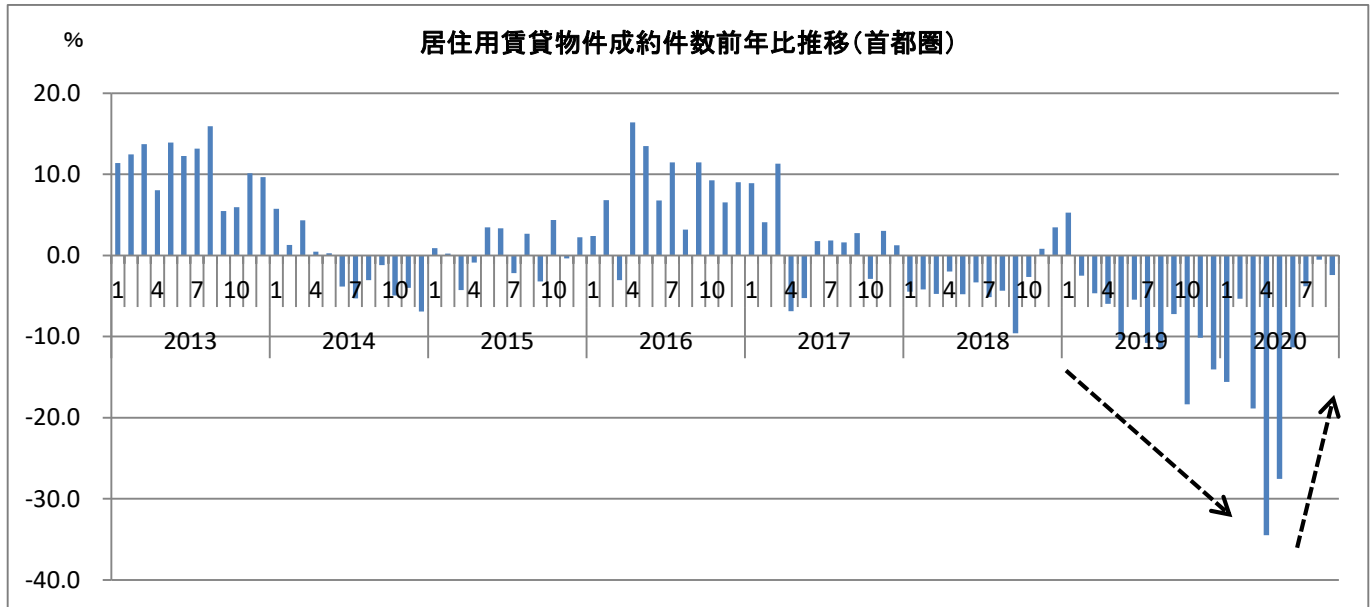
居住用賃貸の動向-1(件数推移)

■ 成約件数の動向(首都圏)

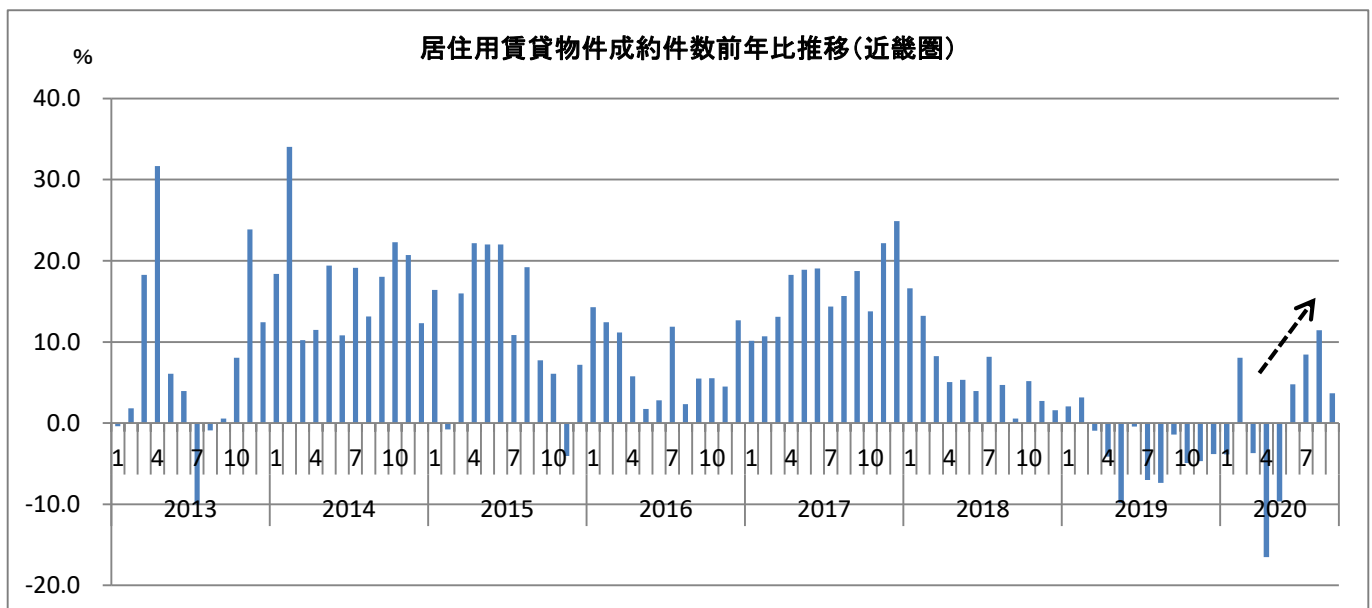
- 9月の首都圏の居住用賃貸の成約件数は、20ヶ月連続で前年を下回り、前年比 $\Delta 2.4\%$ 。

■ 成約件数の動向(近畿圏)

- 9月の近畿圏の成約件数は、4ヶ月連続で前年を上回り、前年比 $+3.7\%$ 。



出典：(公社)東日本不動産流通機構「レイズシステム利用実績報告」首都圏会員登録状況成約数(住宅以外の建物を除く)



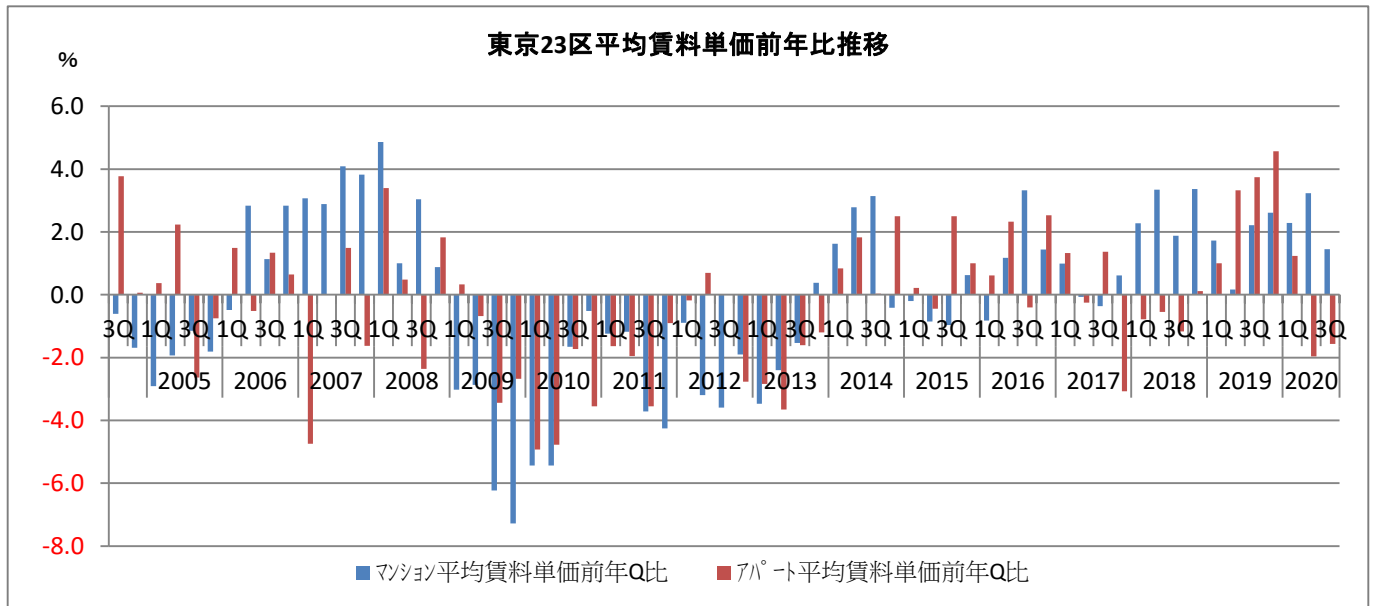
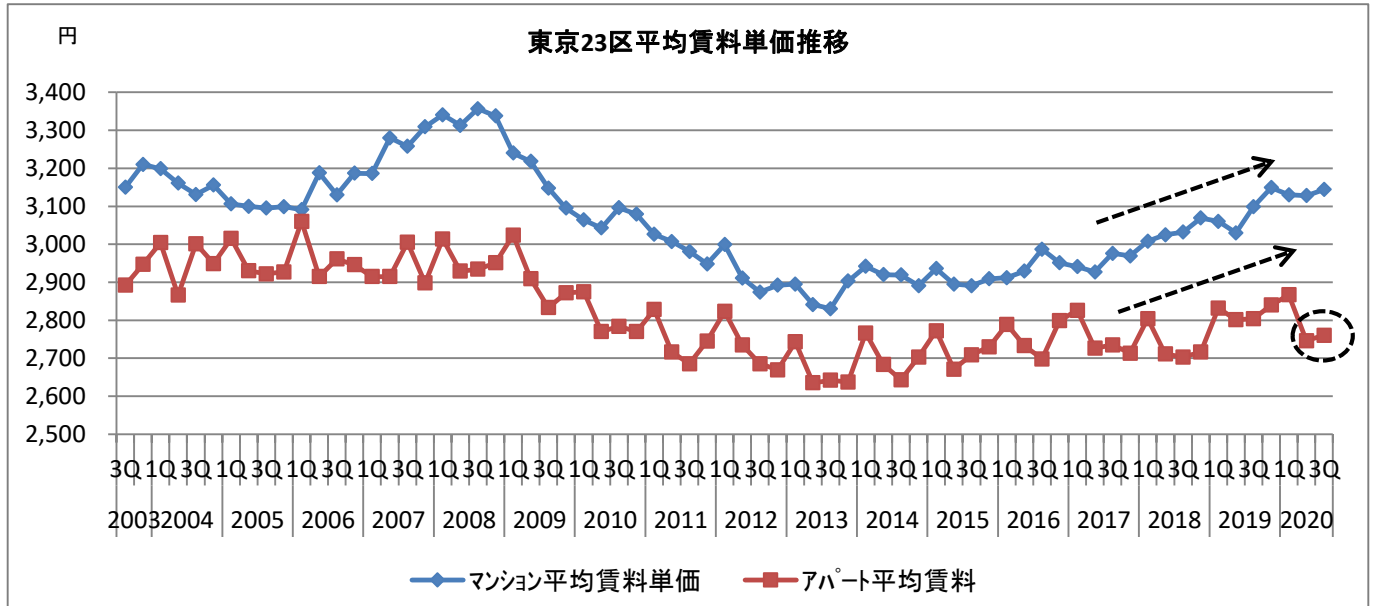
出典：(公社)近畿圏不動産流通機構「マンスリーレポート」大阪府、京都府、兵庫県のアパートマンションの合計数

居住用賃貸の動向-2(賃料推移)

■ 賃料の動向（東京23区）

- 2020年第3四半期の平均成約賃料m²単価は、マンションは、12期連続で前年を上回り前年比+1.5%。アパートは、2期連続で前年を下回り前年比△1.6%だった。

	2017	2018				2019				2020		
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
マンション平均賃料単価(円)	2,969	3,008	3,025	3,032	3,069	3,060	3,030	3,099	3,149	3,130	3,128	3,144
マンション平均賃料単価前年Q比	0.6	2.3	3.3	1.9	3.4	1.7	0.2	2.2	2.6	2.3	3.2	1.5
アパート平均賃料単価(円)	2,713	2,804	2,711	2,703	2,716	2,832	2,801	2,804	2,840	2,867	2,746	2,760
アパート平均賃料単価前年Q比	-3.1	-0.8	-0.6	-1.2	0.1	1.0	3.3	3.7	4.6	1.2	-2.0	-1.6

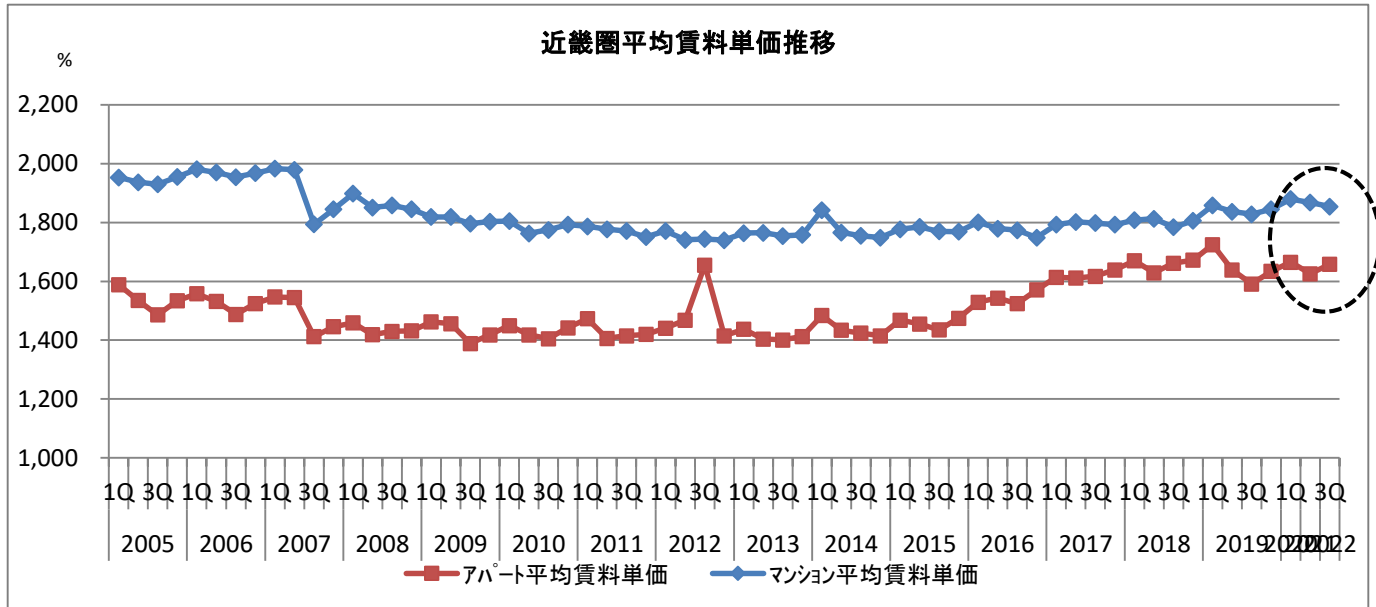


出典：(公社)東日本不動産流通機構「首都圏賃貸取引動向」

居住用賃貸の動向-2(賃料推移)

■ 賃料の動向(近畿圏)

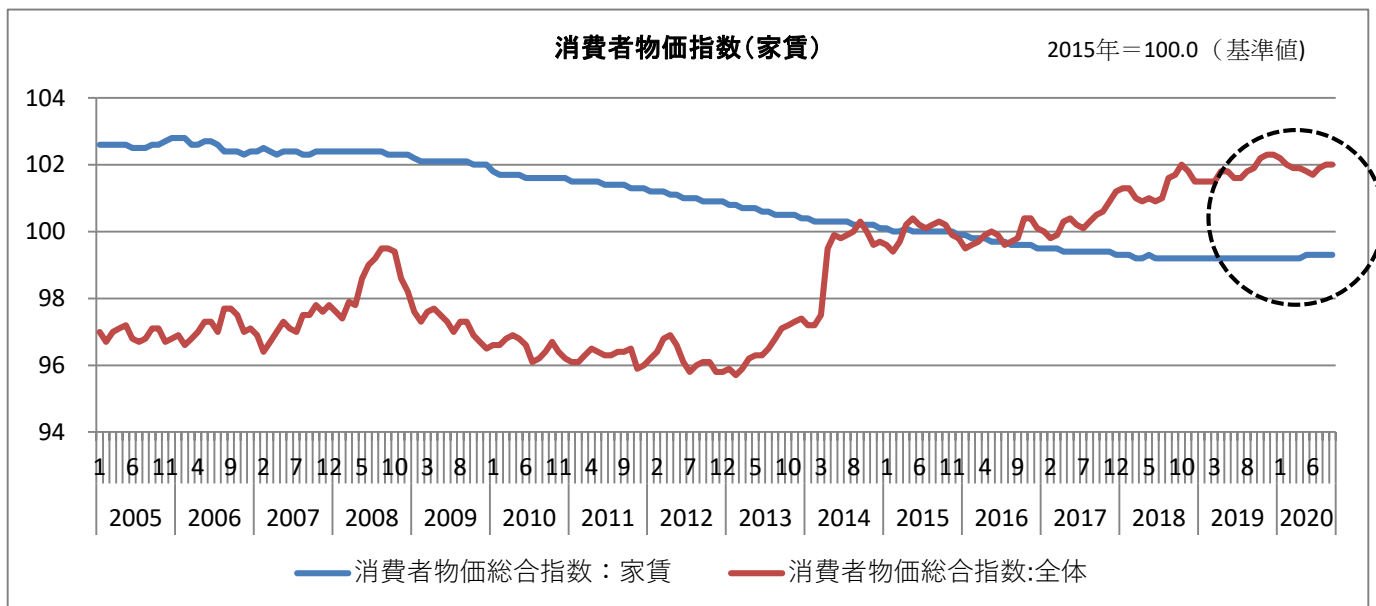
- 2020年第3四半期の平均成約賃料m²単価は、マンションが、8期連続で前年を上回り+1.4%。アパートは、5期振りに前年比を上回り+4.2%。



出典(公社)近畿圏不動産流通機構不動産取引動向

■ 消費者物価指数:家賃の動向(全国)

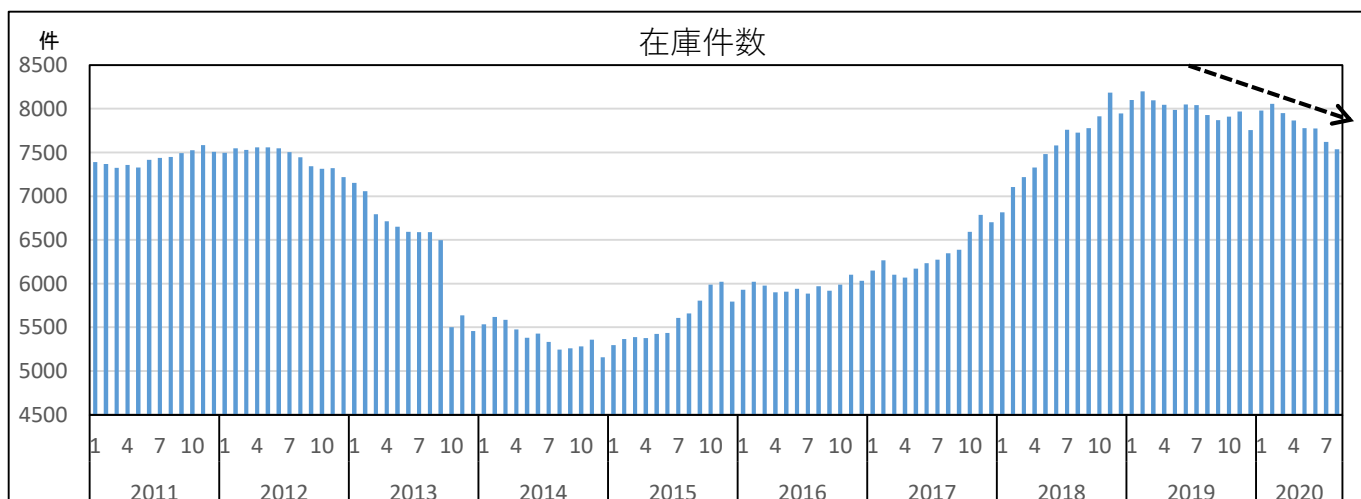
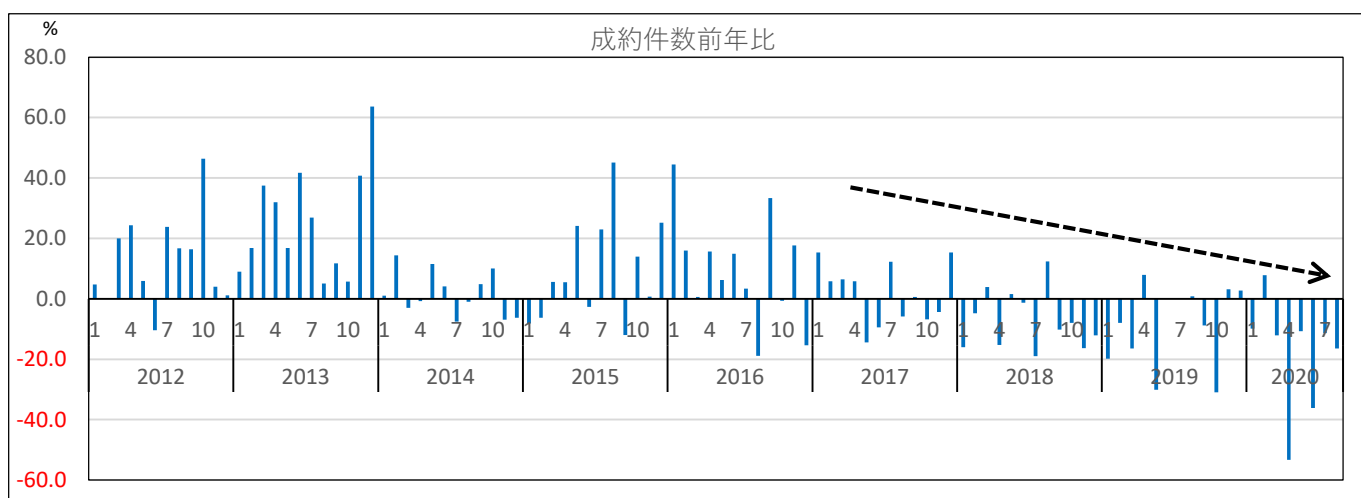
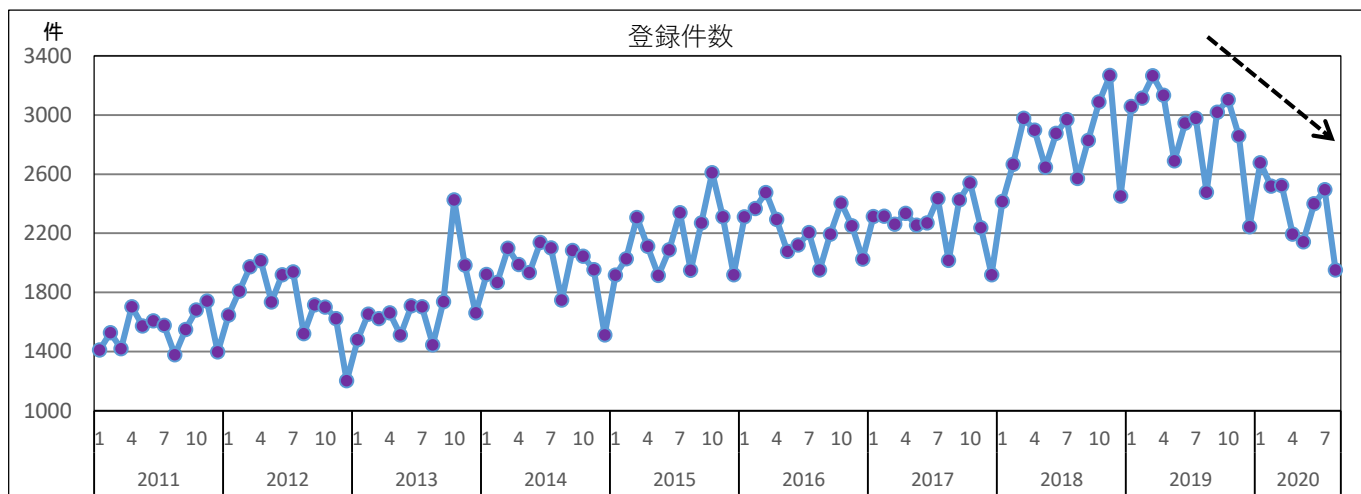
- 9月の消費者物価指数による家賃は99.3p、前年比+0.1%で、5ヶ月連続で前年を上回った(消費者物価指数全体102.0p、前年比±0%)。



出典:総務省統計局「基準消費者物価指数」

■ <参考>一棟売り物件の動向(首都圏)

- 9月の一棟売り物件の登録件数は、11ヶ月連続で前年を下回り、 $\Delta 27.0\%$ 。
- 成約件数は7ヶ月連続で前年を下回り、 $\Delta 17.2\%$ 。
- 在庫件数は12ヶ月連続で前年を下回り、 $\Delta 6.2\%$ 。



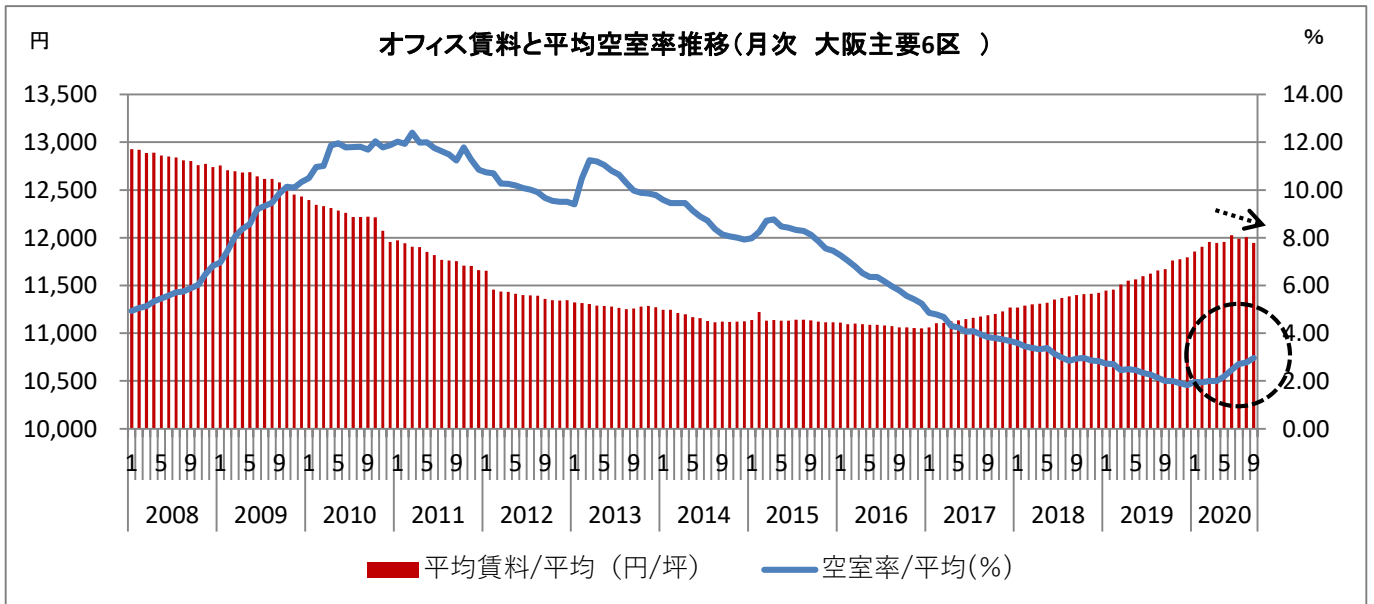
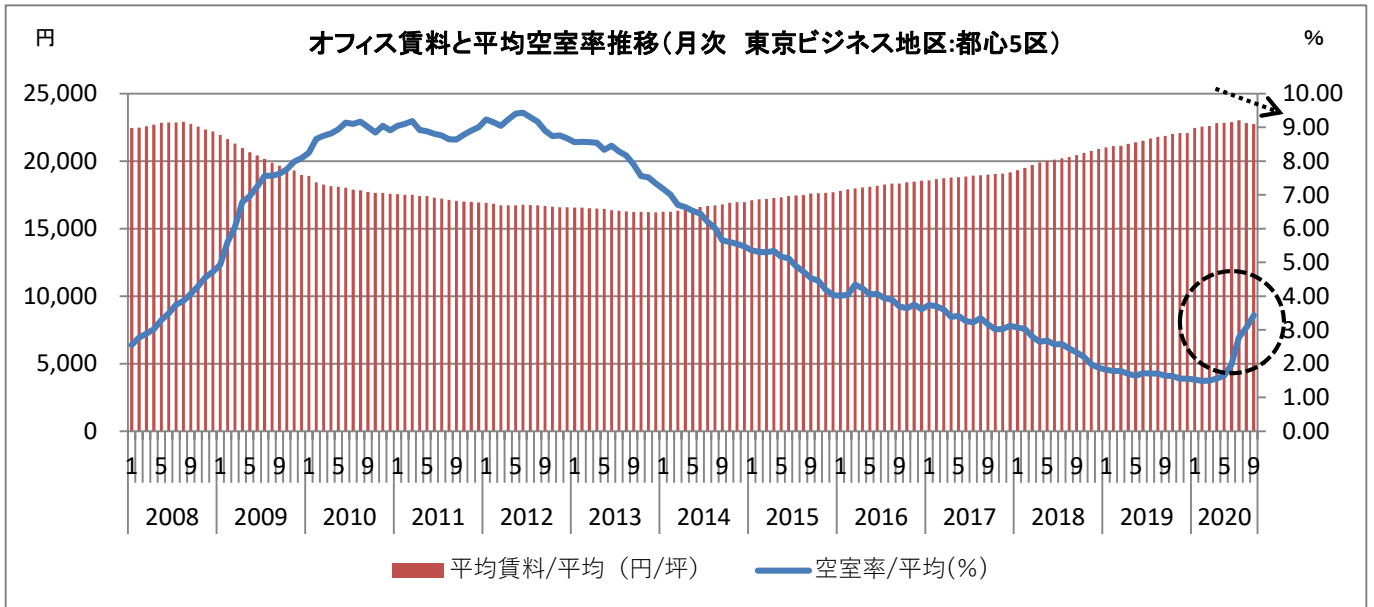
オフィス賃貸の動向

■ 東京都心5区

- 9月の都心5区の平均賃料は、77ヶ月連続で前年を上回り、前年比+4.0%(前月比では3ヶ月連続で下落)。
- 空室率は、前年比で1.8pで5ヶ月連続悪化した。

■ 大阪主要6区

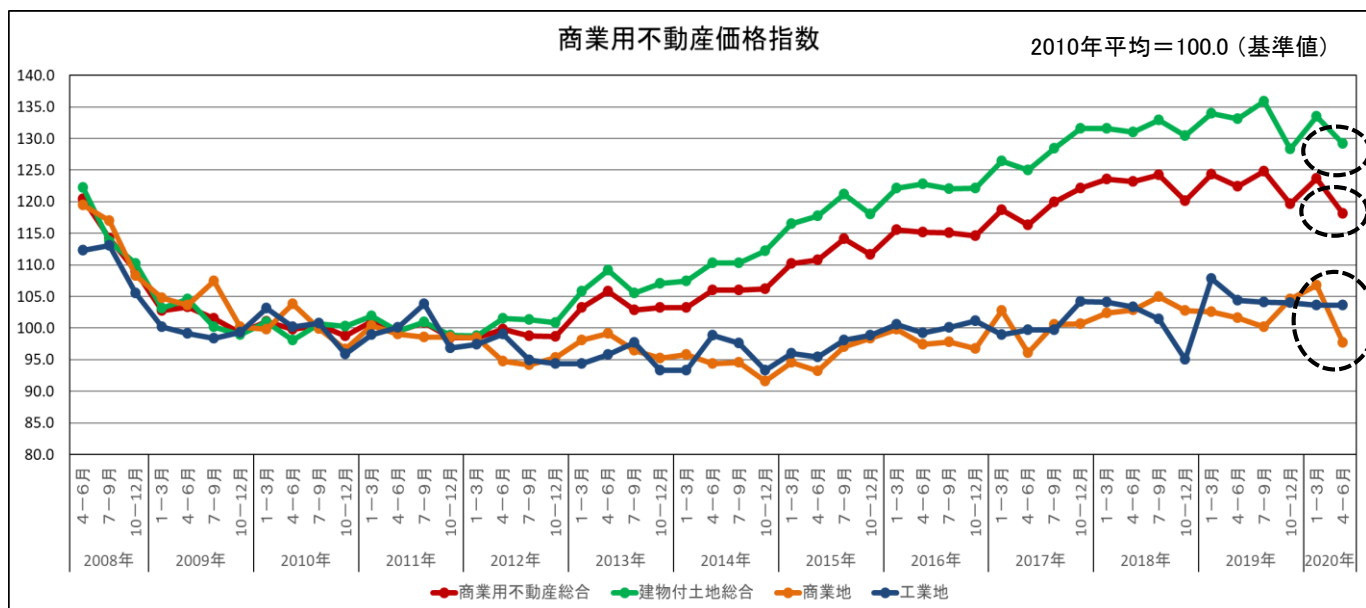
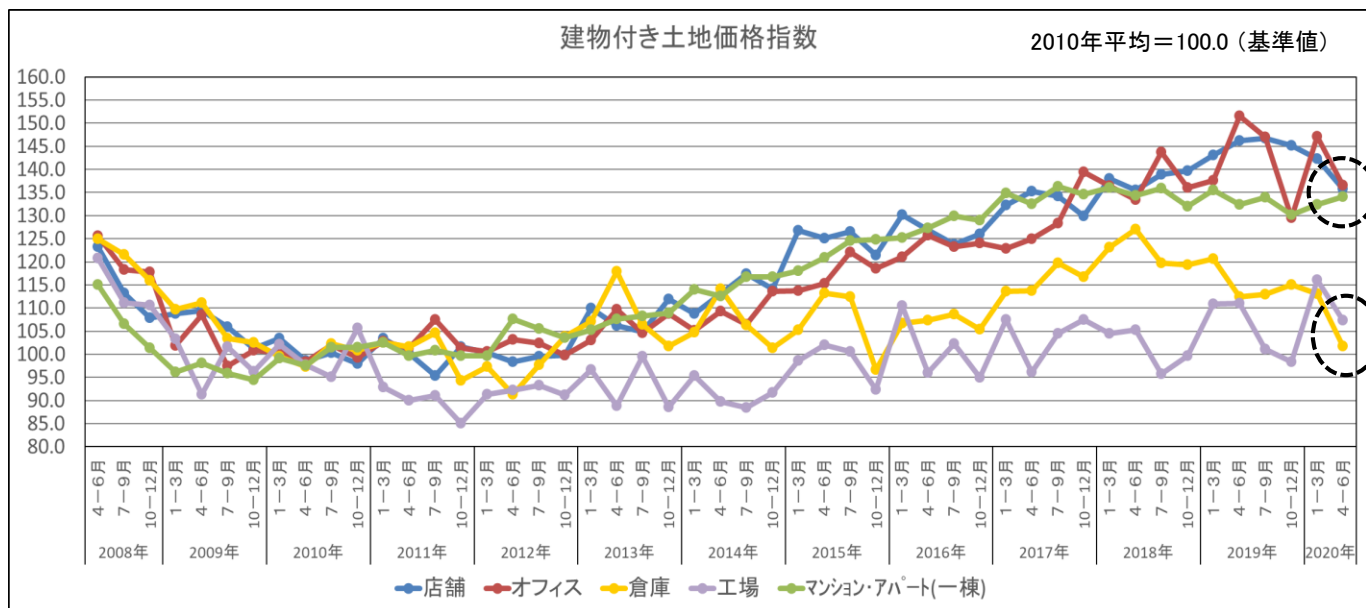
- 9月の大阪主要6区の平均賃料は、44ヶ月連続で前年を上回り、前年比+2.3%（前月比では2ヶ月振りに下落）。
- 空室率は、前年比で1.0pで4ヶ月連続悪化した。



出典：三鬼商事株式会社「オフィスデータ」

■ <参考> 商業用不動産の価格指数推移

- 2020年第2四半期の商業用不動産総合は118.1p(3期連続で前年比減、 $\Delta 3.6\%$)、建物付土地総合129.2p(3期連続で減、 $\Delta 2.9\%$)、商業地97.7p(3期振りに減、 $\Delta 3.9\%$)、工業地103.6p(2期連続で減、 $\Delta 0.7\%$)
- 店舗135.7p(2期連続で減、 $\Delta 7.1\%$)、オフィス136.5p(2期振りに減、 $\Delta 10.0\%$)、倉庫101.7p(6期連続で減、 $\Delta 9.5\%$)、工場107.3p(2期振りに減、 $\Delta 3.3\%$)、一棟アパート134.1p(8期振りに増、 $+1.3\%$)

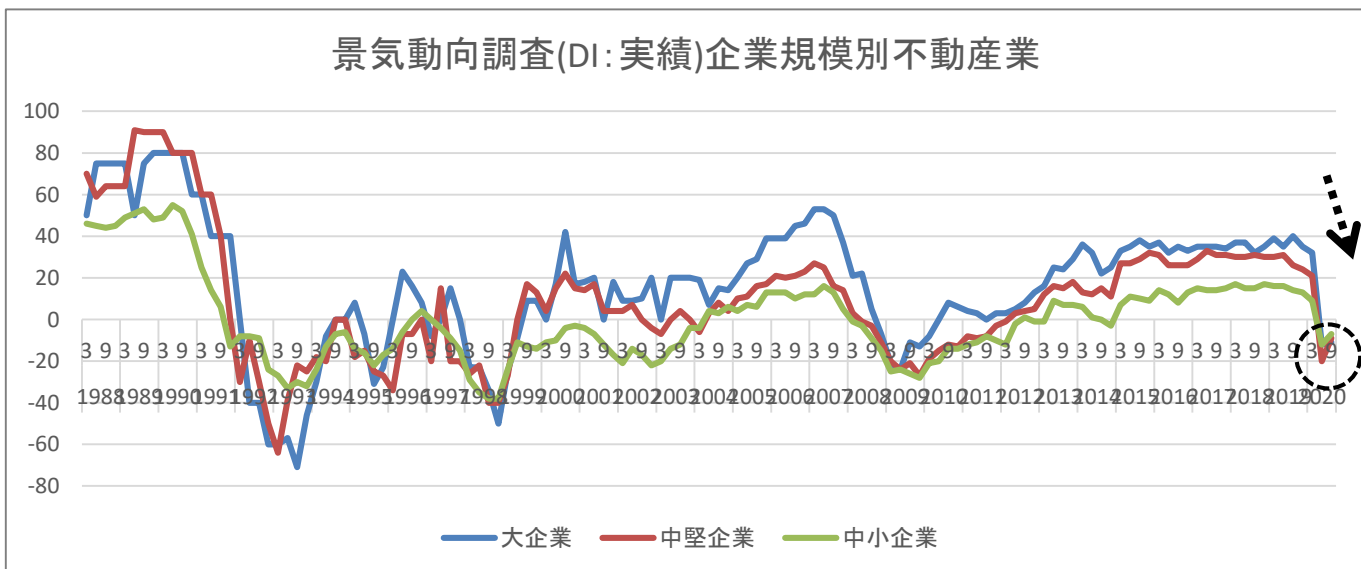
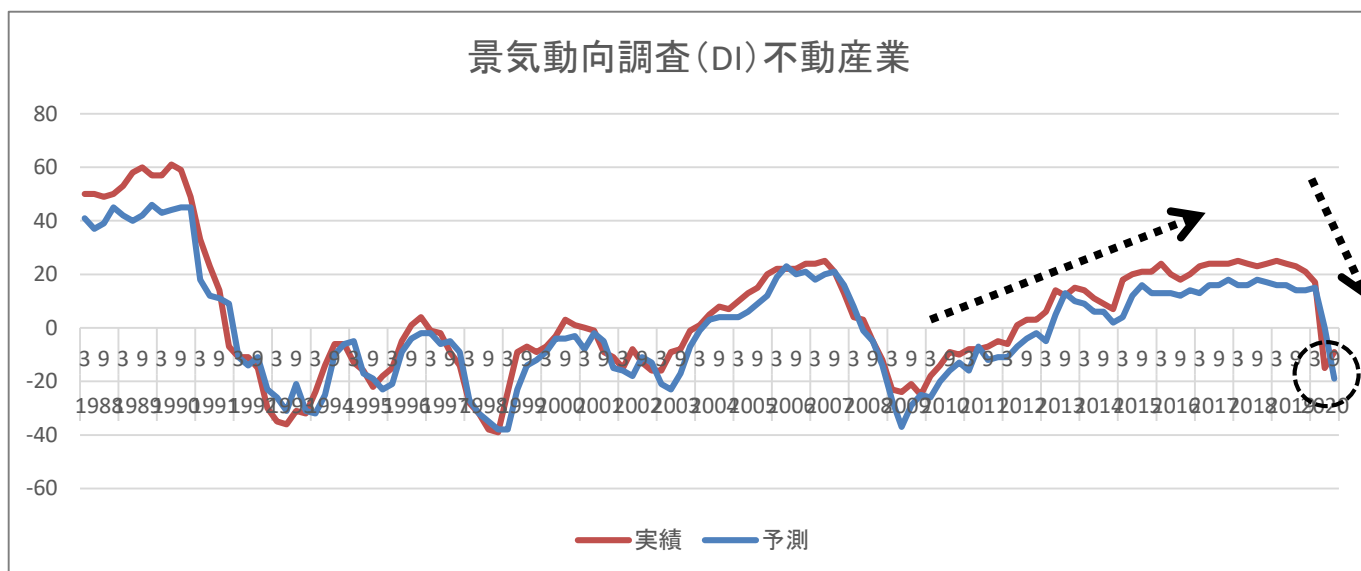


出典: 国交省「土地総合情報ライブラリー」

景気動向

■ 全体動向

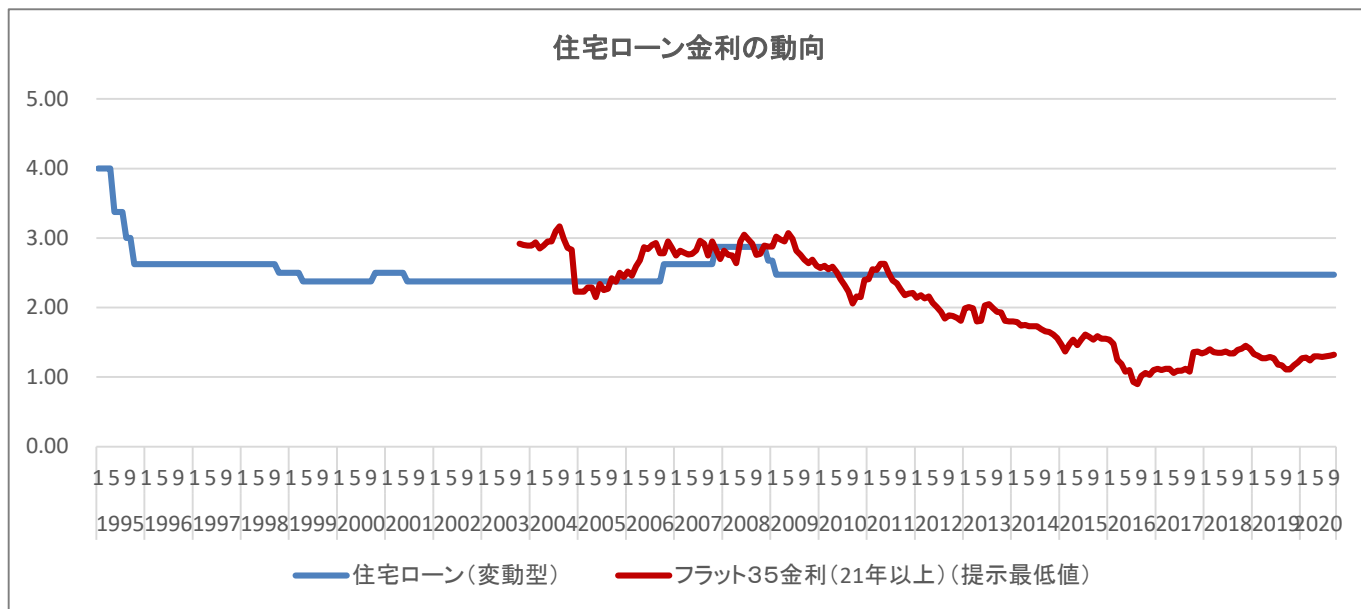
- 不動産業の2020年第3四半期の景気動向指数(実績)は2期連続でマイナスで $\Delta 9p$ (全産業は3期連続でマイナス、 $\Delta 28p$)、前期比は $+6p$ だった。
- 不動産業企業規模別では、大企業は2期連続でマイナスで $\Delta 11p$ (前期比 $+1p$)、中堅企業は2期連続でマイナスで $\Delta 9p$ (同 $+11p$)、中小企業は2期連続でマイナスで $\Delta 7p$ (同 $+5p$)となった。
- 不動産業の2020年第4四半期予測は $\Delta 12p$ で前期実績比 $\Delta 3p$ (全産業は $\Delta 27p$ で同 $+1p$)。
- 不動産業企業規模別(予測)では、大企業は $+3p$ (前期実績比 $+14p$)、中堅企業が $\Delta 17p$ (同 $\Delta 8p$)、中小企業が $\Delta 15p$ (同 $\Delta 8p$)となっている。



経済動向

■ 金利動向

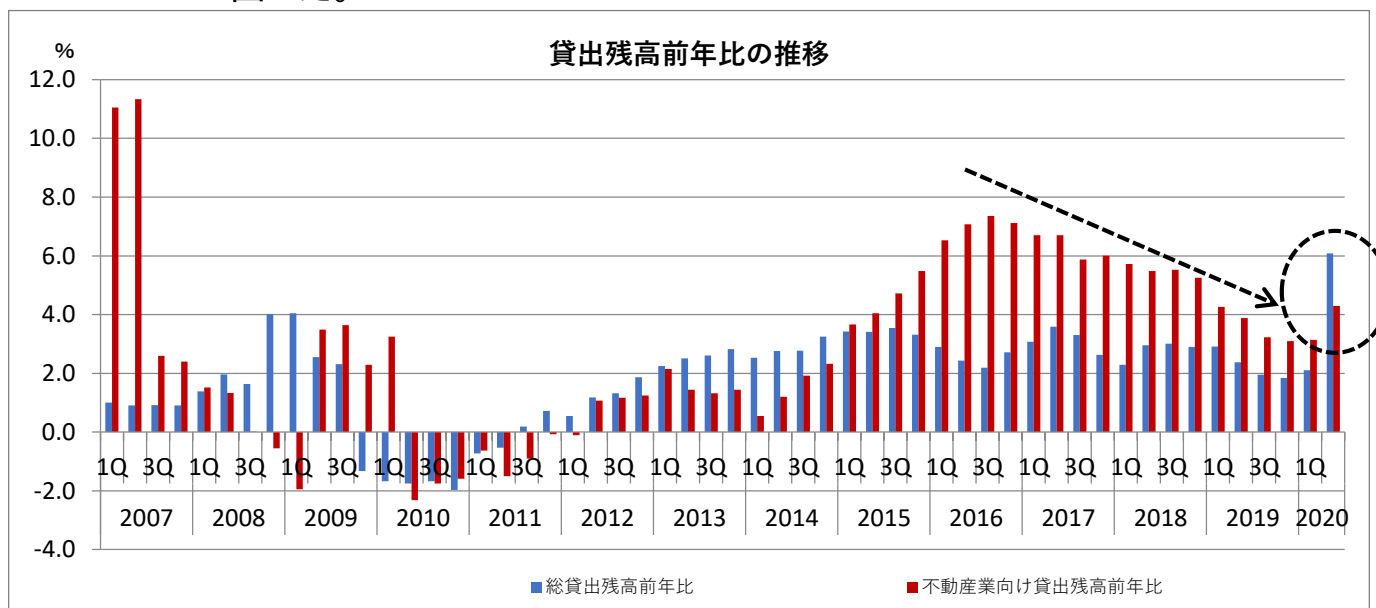
- 金利は引き続き低い水準にある。9月1日の借入金利は(最低値)は、1.32%。



出典: 住宅金融支援機構

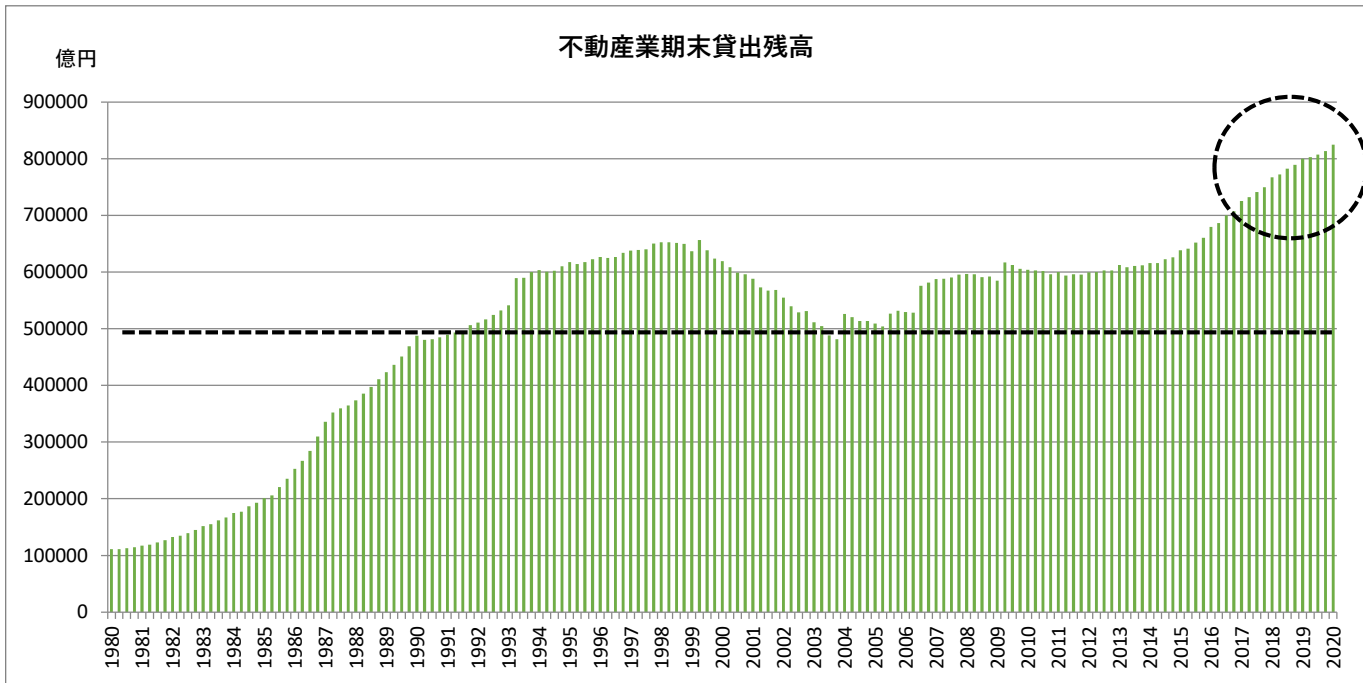
■ 貸出残高の推移

- 2020年第2四半期の不動産向け貸出残高は2012年第2四半期から33期連続で前年比を上回り、+4.3%だった(総貸出残高は+6.1%)。22期振りに不動産向け貸出残高の伸び率が総貸出残高の伸び率より下回った。



出典: 日本銀行「金融経済統計月報」

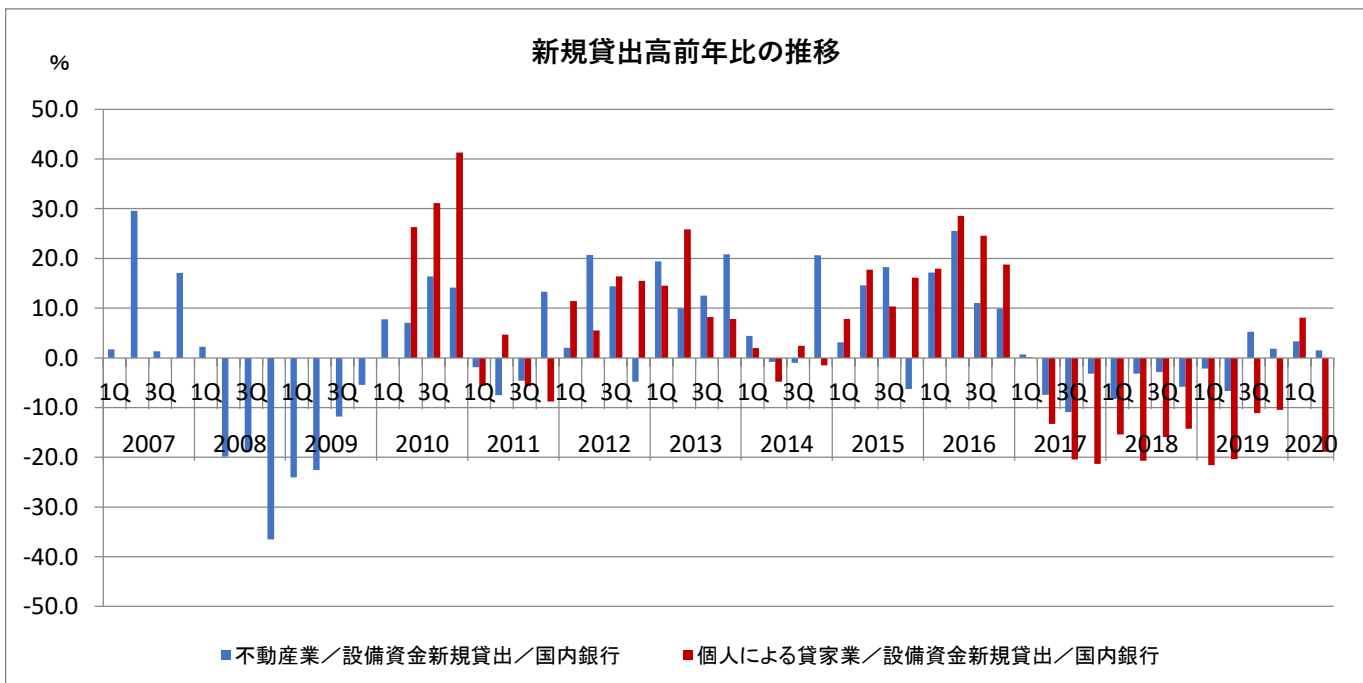
- ・ 不動産向け貸出残高は引き続き高い水準である。



出典：日本銀行「金融経済統計月報」

■ 設備資金新規貸出高の推移

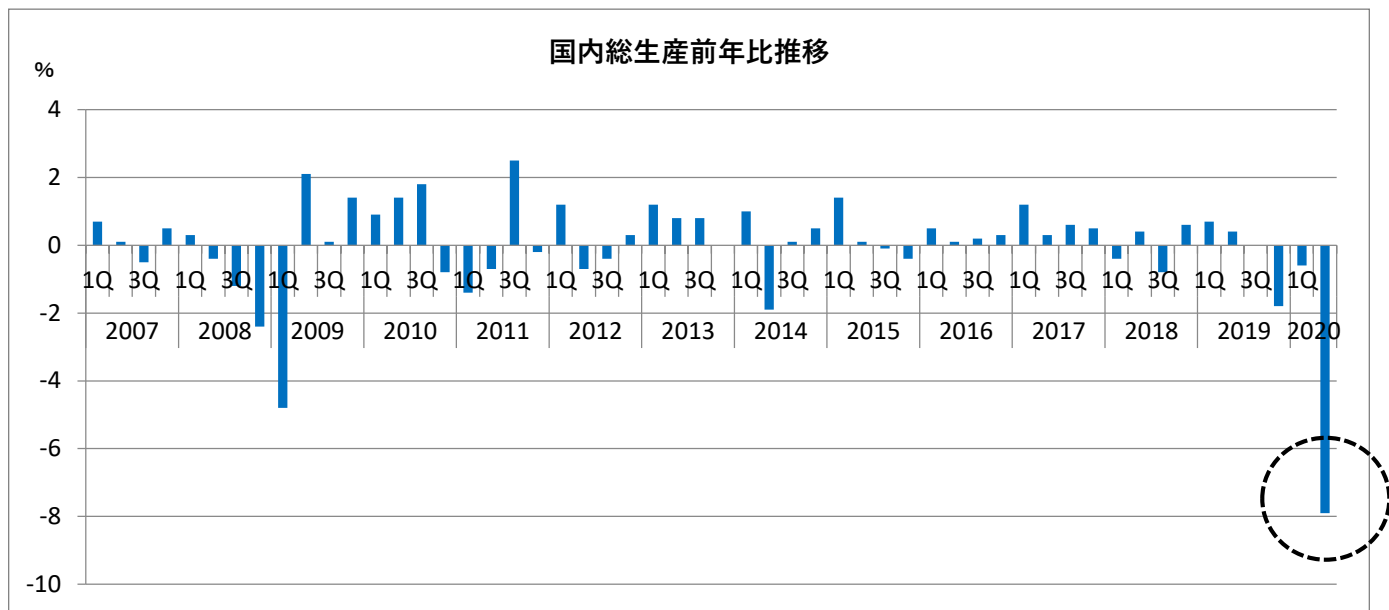
- 2020年第2四半期の個人の貸家業への設備資金新規貸出高は、2四半期振りに前年比マイナスとなり、△18.9%だった。



出典：日本銀行「金融経済統計月報」

■ 国内総生産

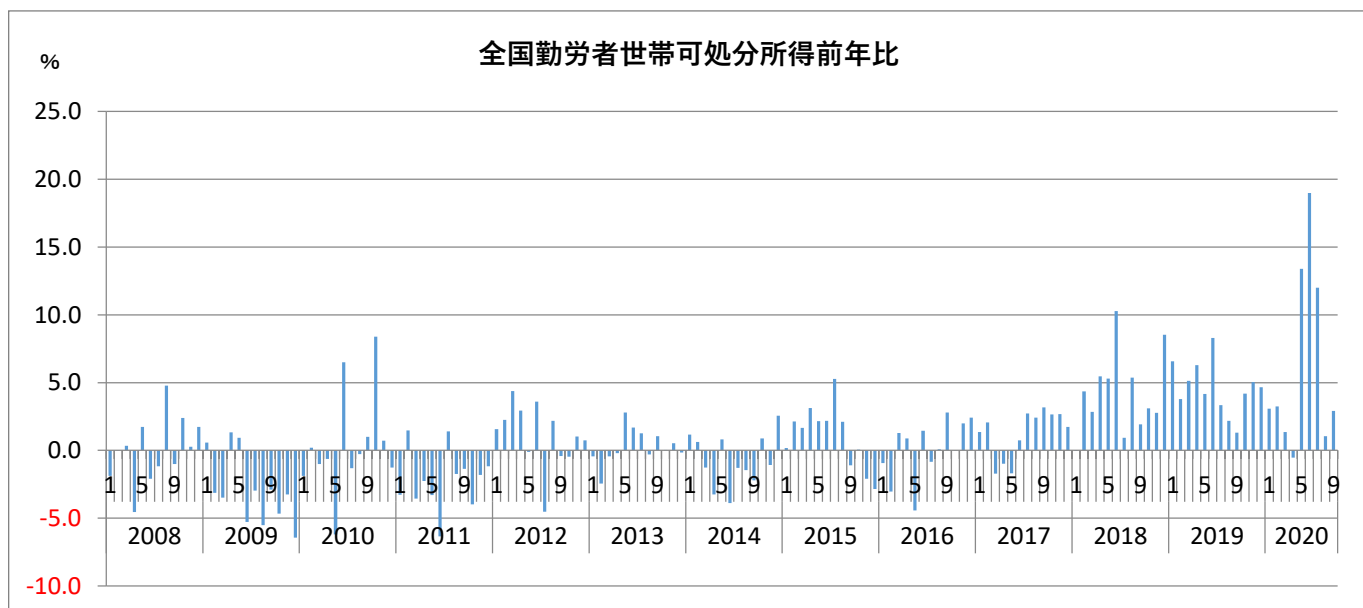
- 国内総生産(GDP)は3期連続で前年を下回り、第2四半期は $\Delta 7.9\%$ だった。〔実質季節調整系列(前期比)、2次速報値〕



出典：内閣府「四半期GDP速報実質季節調整系列(前期比)」

■ 全国勤労者可処分所得

- 9月の全国勤労者可処分所得は、5ヶ月連続で前年を上回り、+2.9%だった。



出典：総務省統計局「家計調査」

① プラスの指標

1. 中古マンション
 - ・ 成約件数は、首都圏、近畿圏共に前年比で減少した。
 - ・ 平均単価は、首都圏、近畿圏共に前年比で上昇した。
 - － 平均成約価格は首都圏が3,693万円、近畿圏は2,354万円。
 - ・ 新規登録件数は、首都圏、近畿圏共に前年比で減少し、特に首都圏は13ヶ月連続で減少した。
 - ・ 成約率(成約件数/新規登録件数)は、前月比では首都圏が+1p、近畿圏は+2pだった。
 - ・ 首都圏では在庫件数が前年比で10ヶ月連続減少した。
2. 中古戸建
 - ・ 成約件数は、首都圏、近畿圏共に前年比で増加した。
 - ・ 新規登録件数は、首都圏、近畿圏共に前年比で減少した。
 - ・ 成約率(成約件数/新規登録件数)は、前月比では首都圏は±0p、近畿圏は+4pだった。
 - ・ 成約平均価格は、首都圏、近畿圏共に前年比で上昇した。
 - － 平均成約価格は首都圏が3,168万円、近畿圏は2,275万円。
 - ・ 首都圏では新築の平均価格(3,560万円)に対し、中古の平均価格は(3,168万円)と新築に対する中古の価格比は89.0%。
3. 新築戸建て(首都圏)
 - ・ 成約件数は、前年比で増加した。
 - ・ 新規登録物件数(≒新規供給戸数)は、10ヶ月連続で前年比で減少した。
 - ・ 成約平均価格は前年比では、ほぼ変わらなかった。
 - ・ 在庫件数は3ヶ月連続で前年比で減少した。

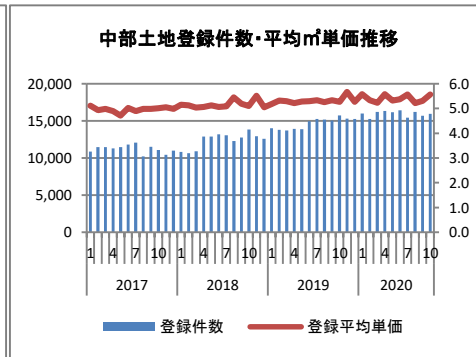
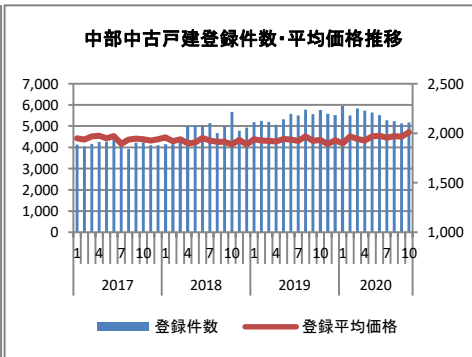
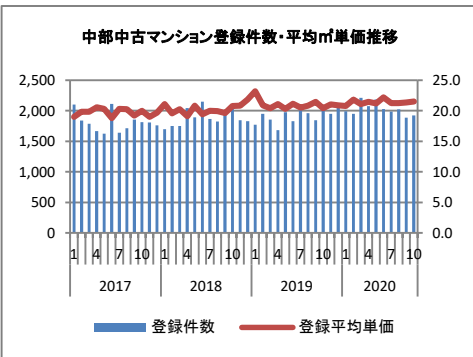
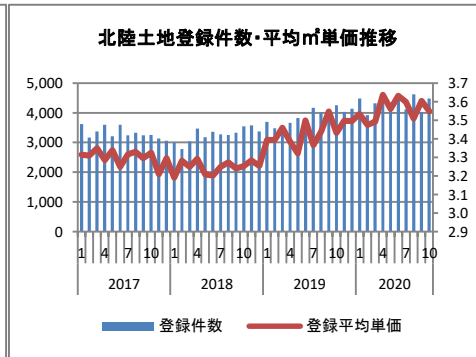
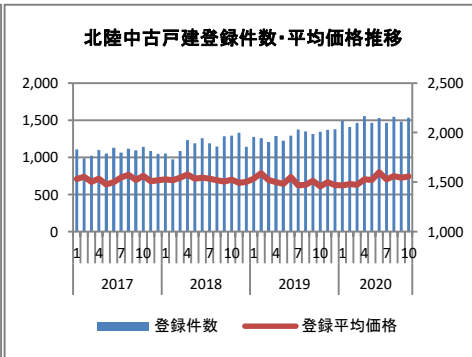
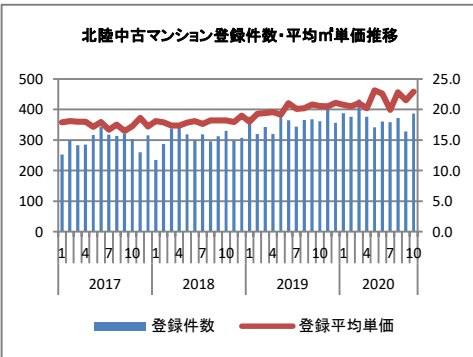
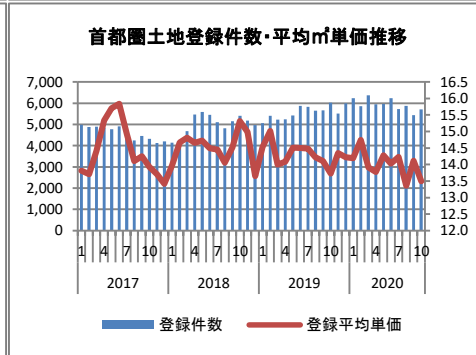
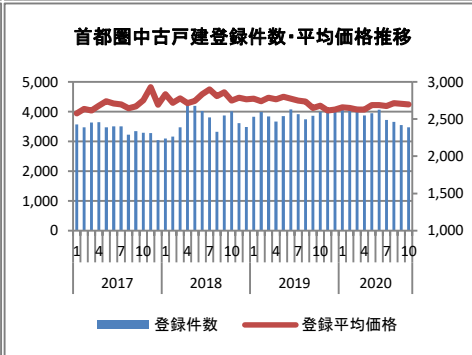
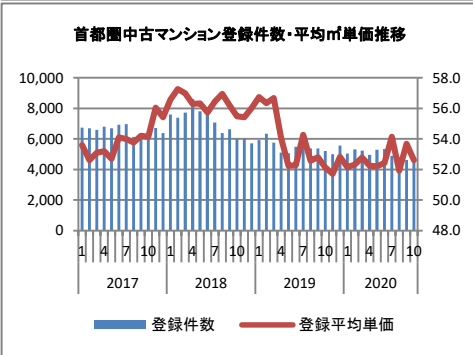
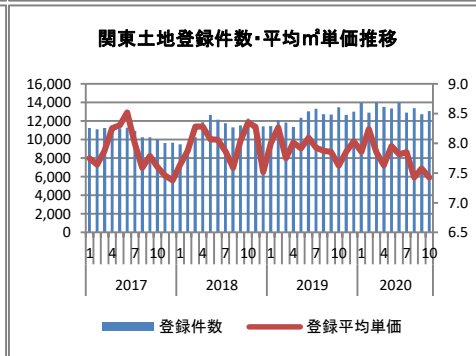
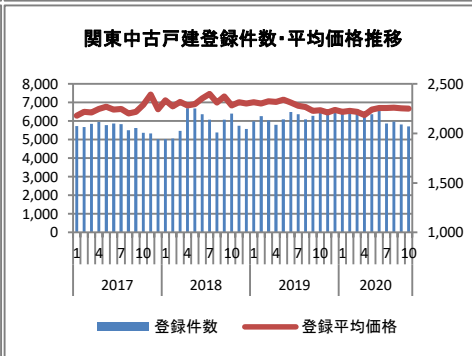
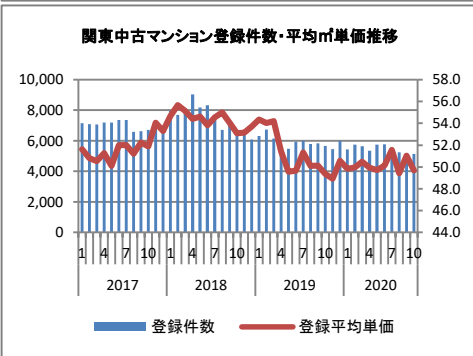
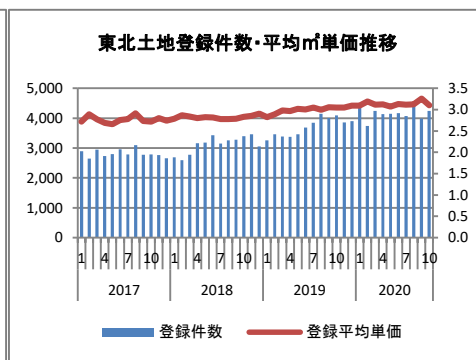
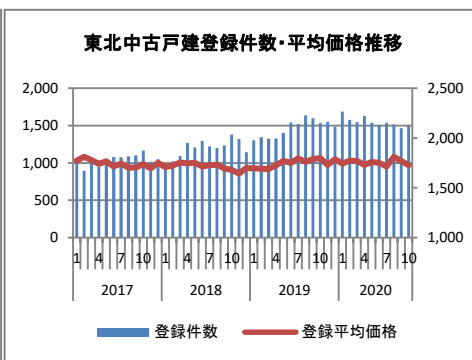
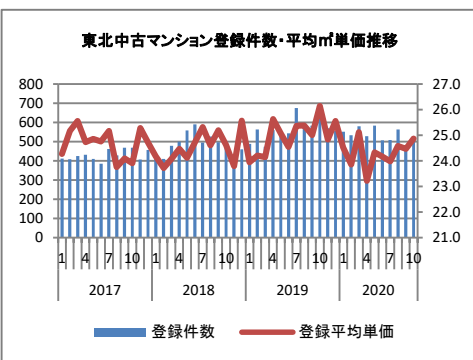
② 微妙

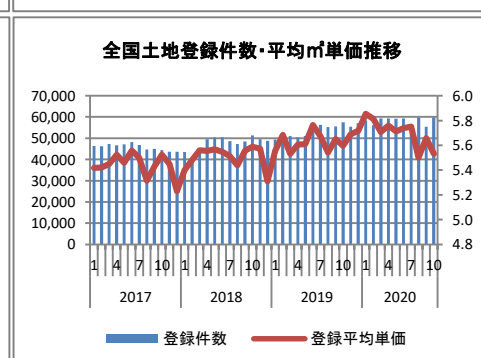
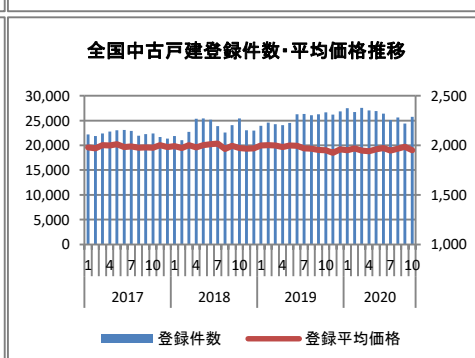
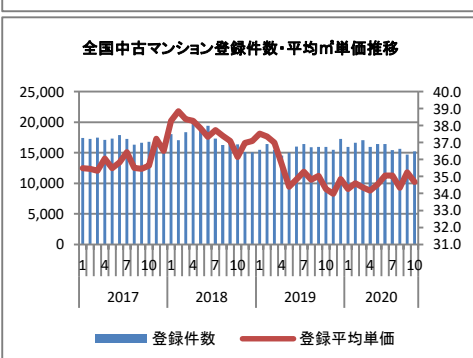
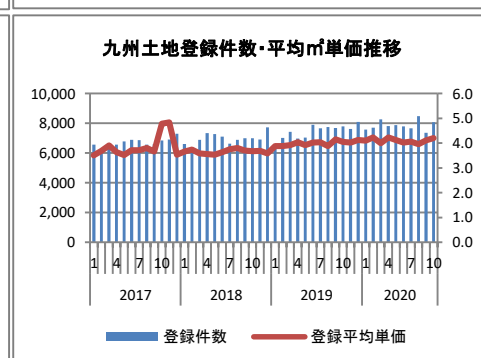
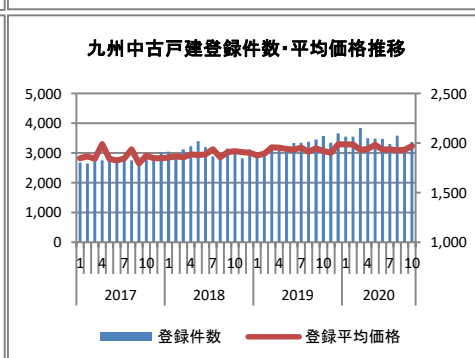
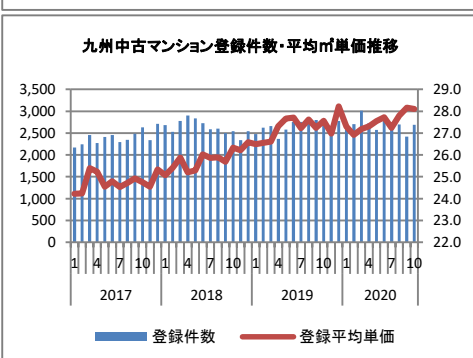
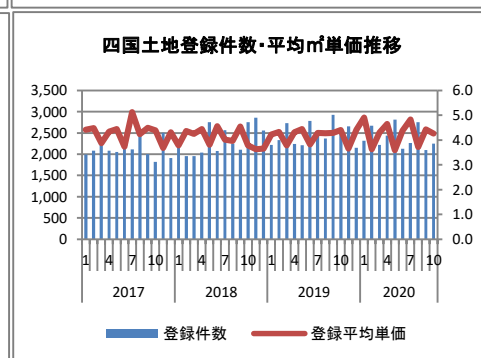
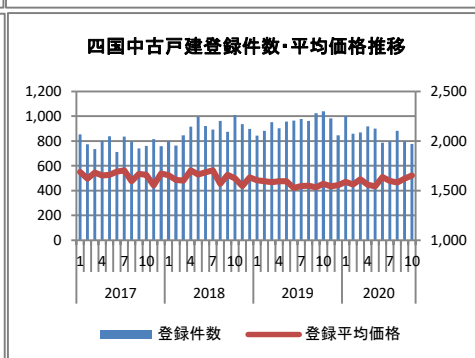
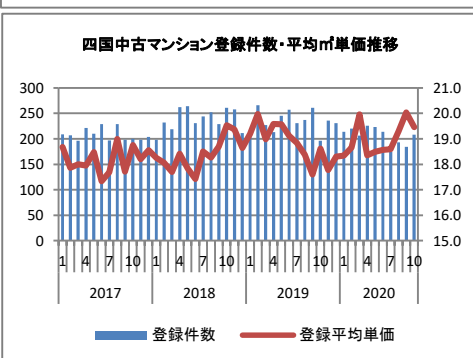
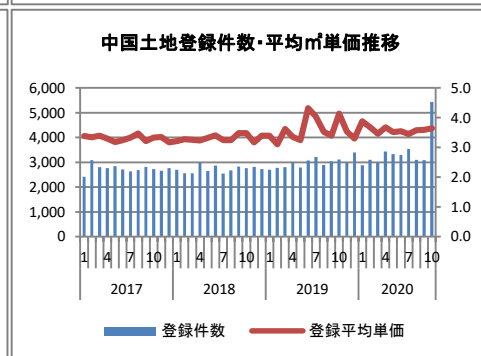
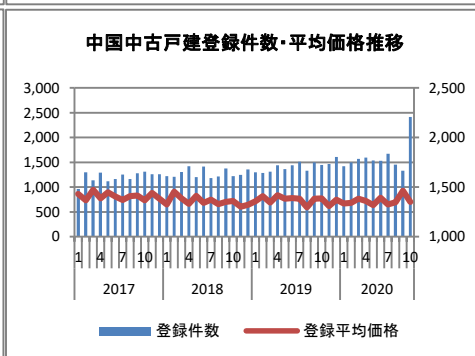
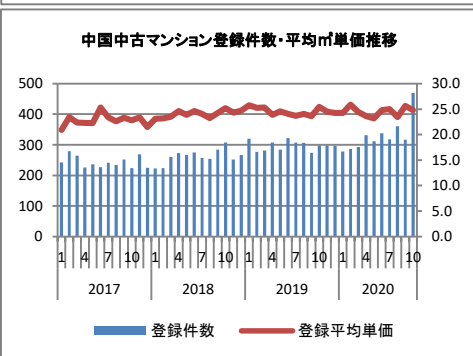
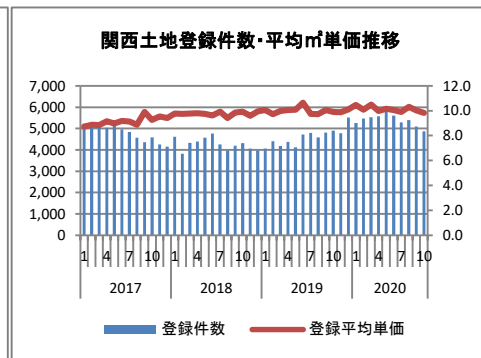
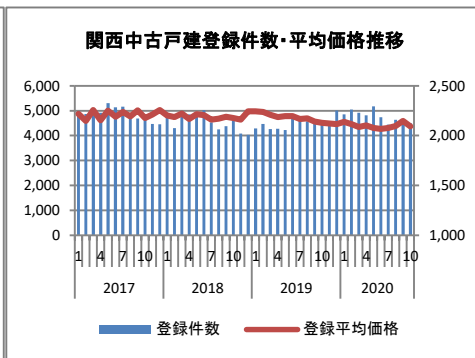
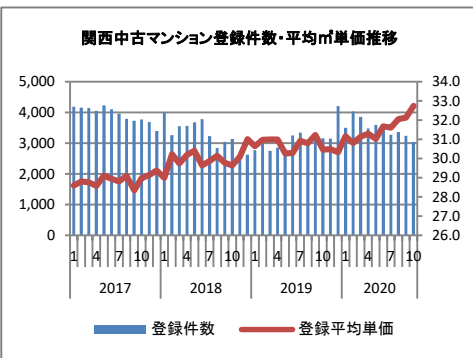
1. 賃貸
 - ・ 成約件数は、首都圏が前年比で20ヶ月連続で減少したが、近畿圏は4ヶ月連続で増加した。
 - ・ 平均成約賃料は、東京23区でマンションは前年比で12四半期連続上昇したが、アパートは2期連続で下落した。
 - ・ 近畿圏もマンションは8期連続上昇し、アパートは5期振りに上昇した。
2. オフィス
 - ・ 平均賃料は都心5区、大阪6区共に前年比で上昇しているが、前月比では下落。
 - ・ 空室率は都心5区が5ヶ月連続、大阪6区が4ヶ月連続で前年比で悪化した。
3. 土地
 - ・ レインズの成約件数は前年比で首都圏、近畿圏共にプラスだった。
4. 金融
 - ・ 住宅ローン金利は、低位安定。
 - ・ 金融機関の不動産向け貸出残高は33四半期連続で前年比増加したが、不動産向け貸出残高の伸び率が総貸出残高の伸び率より下回った。
 - ・ 設備資金新規貸出残高は、不動産業は4四半期連続でプラスだったが、個人による貸家業は2四半期振りに前年比マイナスだった。

③ マイナスの指標

1. 新設着工戸数
 - ・ 新設着工総数は、15ヶ月連続で前年比で減少した。
 - ・ 地域別で見ると、すべての地域で減少しており、特に首都圏は18ヶ月連続、地方圏は15ヶ月連続での減少。
 - ・ 種別で見ると、分譲住宅(11ヶ月連続)、持家(14ヶ月連続)、貸家(25ヶ月連続)とすべての種別で減少した。
2. 新築マンション
 - ・ 供給戸数は、首都圏で前年比で増加したが、近畿圏は減少した。
 - ・ 在庫数は、首都圏で前年比3ヶ月振りに減少したが、近畿圏は8ヶ月連続で増加した。
 - ・ 首都圏の平均単価は9ヶ月振りに前年比で下落し、平均供給価格は5,812万円。
 - ・ 初月契約率は首都圏が73.4%と、3ヶ月振りに70%を上回ったが、近畿圏は69.2%と下回った。
3. 建築費(RC単価)
 - ・ 東京は2ヶ月振りに前年比で上昇し、大阪は2ヶ月連続で前年比で下落した。
 - ・ 前月比では東京、大阪共に+0.1だった。
4. 業況予測(DI)
 - ・ 第3四半期DIは実績値で、不動産業全体で2期連続でマイナスだった。
 - － 大企業(△11p)、中堅企業(△9p)、中小企業(△7p)すべての規模でマイナス。
 - ・ 3ヶ月後の予測は、不動産業全体で△12pとさらに悪化(大企業+3p、中堅企業△17p、中小企業△15p)。
5. 経済
 - ・ 第2四半期のGDP(二次速報値)は3期連続で前年を下回った。
 - ・ 全国勤労者可処分所得は5ヶ月連続で前年を上回った。

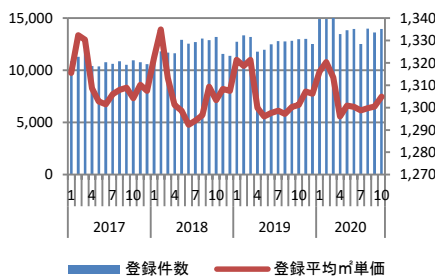
<参考1>全宅連データによる売買種別売り出し件数と価格の推移



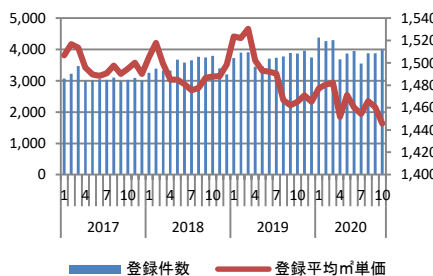


＜参考2＞全宅連データによる賃貸種別登録件数と賃料の推移

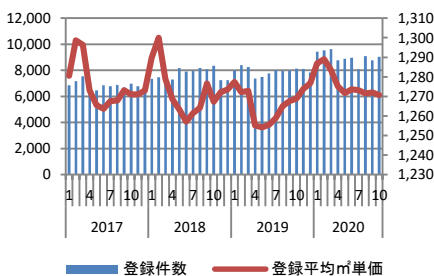
東北全体登録件数・平均㎡単価推移



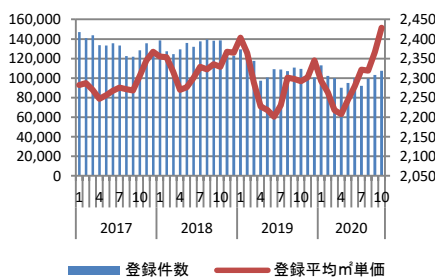
東北マンション登録件数・平均㎡単価推移



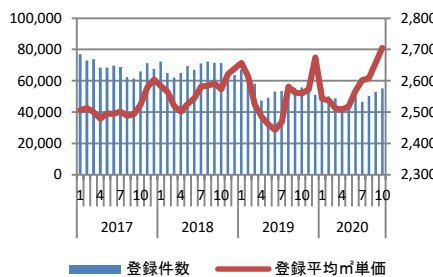
東北アパート登録件数・平均㎡単価推移



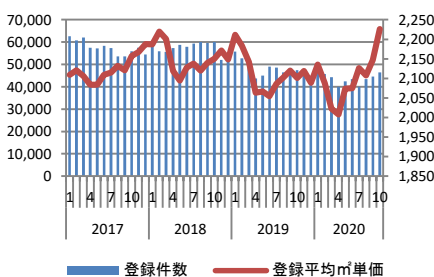
関東全体登録件数・平均㎡単価推移



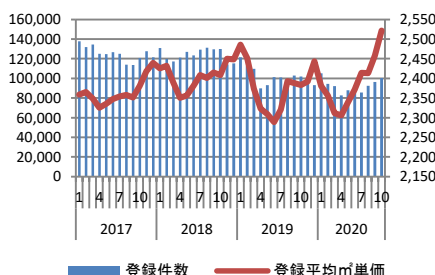
関東マンション登録件数・平均㎡単価推移



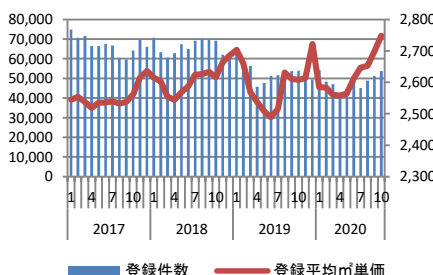
関東アパート登録件数・平均価㎡単価移



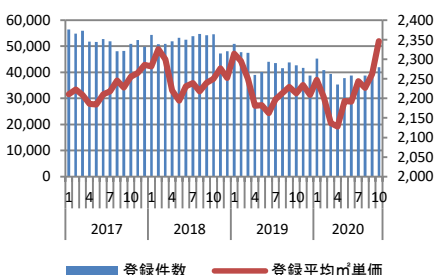
首都圏全体登録件数・平均㎡単価推移



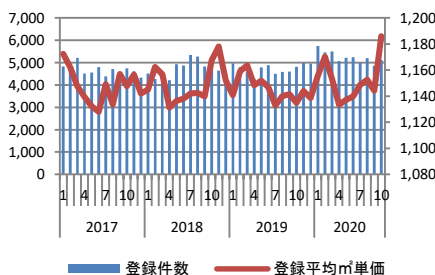
首都圏マンション登録件数・平均㎡単価推移



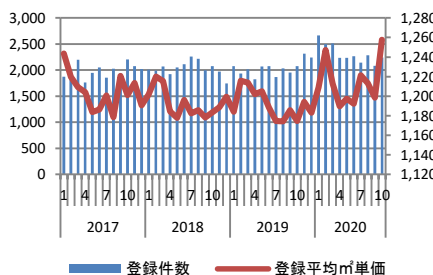
首都圏アパート登録件数・平均㎡単価推移



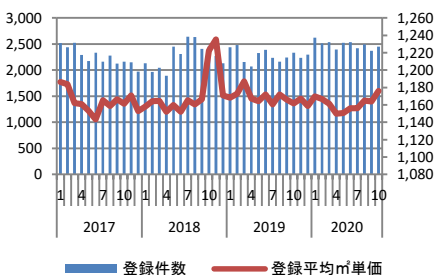
北陸全体登録件数・平均㎡単価推移



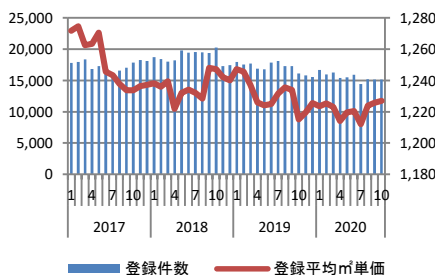
北陸マンション登録件数・平均㎡単価推移



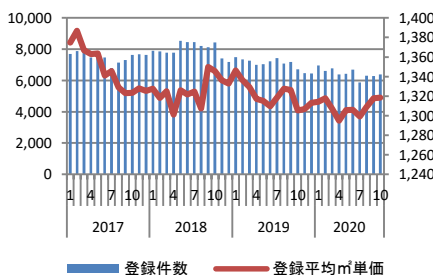
北陸アパート登録件数・平均㎡単価推移



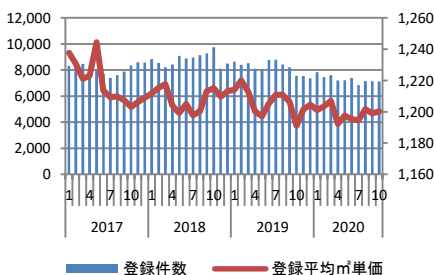
中部全体登録件数・平均㎡単価推移



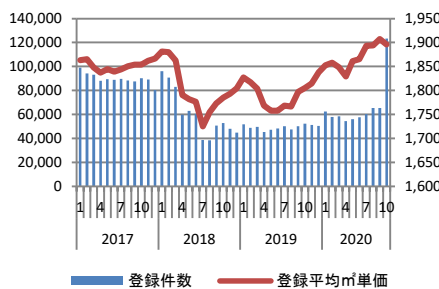
中部マンション登録件数・平均㎡単価推移



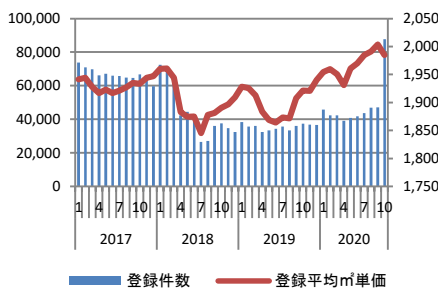
中部アパート登録件数・平均㎡単価推移



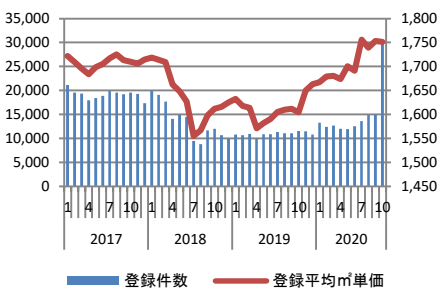
関西全体登録件数・平均㎡単価推移



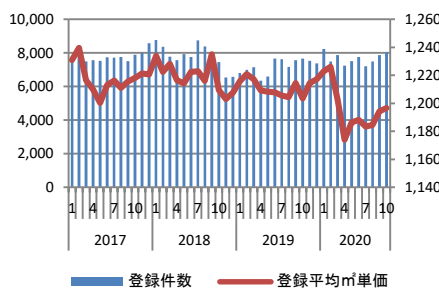
関西マンション登録件数・平均㎡単価推移



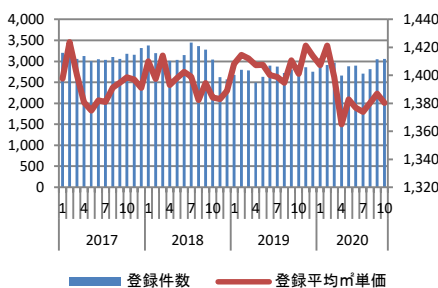
関西アパート登録件数・平均㎡単価推移



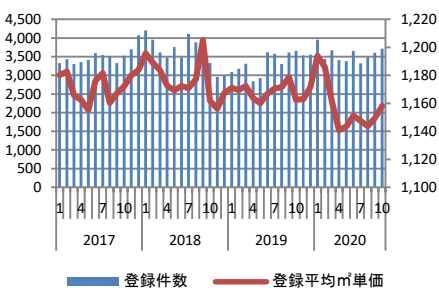
中国全体登録件数・平均㎡単価推移



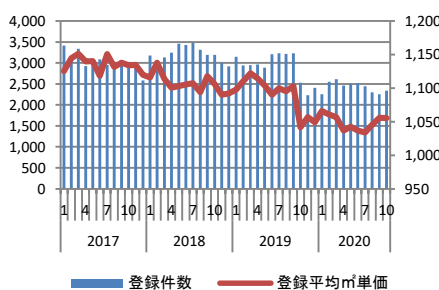
中国マンション登録件数・平均㎡単価推移



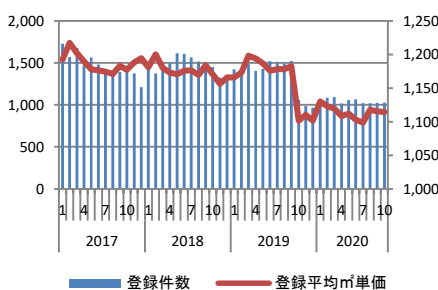
中国アパート登録件数・平均㎡単価推移



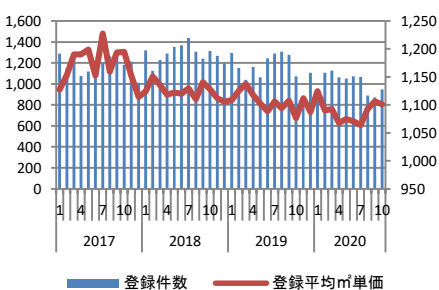
四国全体登録件数・平均㎡単価推移



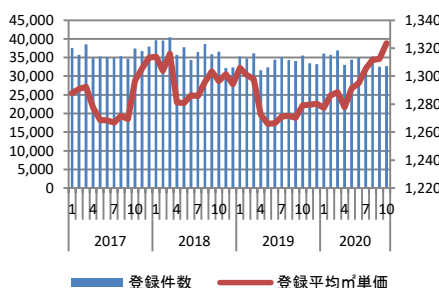
四国マンション登録件数・平均㎡単価推移



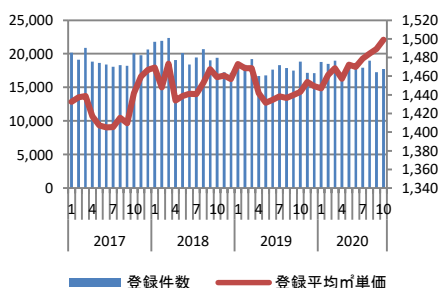
四国アパート登録件数・平均㎡単価推移



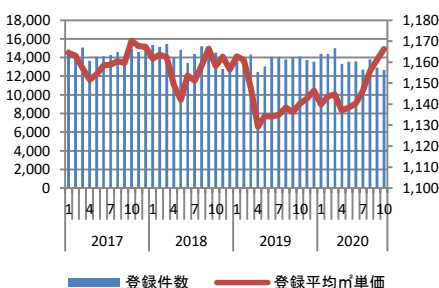
九州全体登録件数・平均㎡単価推移



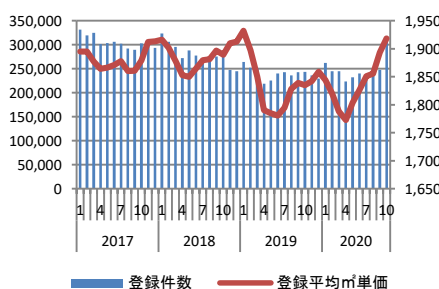
九州マンション登録件数・平均㎡単価推移



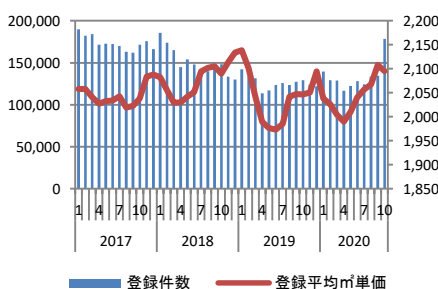
九州アパート登録件数・平均㎡単価推移



全国全体登録件数・平均㎡単価推移



全国マンション登録件数・平均㎡単価推移



全国アパート登録件数・平均㎡単価推移

